

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月29日
16時10分58秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00367	通所介護事業（老人デイサービス事業）		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
細節	30	介護保険サービスの充実		
予算事業	10259	01 03 01 03 02 05 01	通所介護事業（老人福祉費）	
所属長	今峰 みちの		担当者（内線）前田（2452）	
根拠法令等	吹田市立老人デイサービスセンター条例			
事業開始年度	平成8年度	直近の改正	平成29年度	
改正内容	平成29年4月から介護予防・日常生活支援総合事業が実施されることに伴い、本条例の利用者の範囲及び利用料金の規定について、引用する介護保険法等の改正に合わせて整理			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 ● その他		
対象	デイサービスセンター（5カ所）		
目標	日常生活において介護を要する高齢者に対し、福祉サービスを提供するものです。		
結果	高齢者の福祉の向上及びその介護者の負担の軽減を図ります。		
事業概要	施設の管理運営は、指定管理者による独立採算のもと行われており、施設の大規模な修繕と工事、備品購入等は市が実施するものです。 指定管理者が行う事業 送迎による入浴、食事の提供、機能訓練、介護方法の指導等のサービスの提供など。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	指定管理者	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	5,302	6,091	6,063	6,752	4,696
人件費職員数(人)	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,902	4,740	4,832	4,832	4,767
総事業費(A+B)	10,204	10,831	10,895	11,584	9,463
特定財源(C)	15	2	15	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	15	2	15	0	0
市負担(D)	10,189	10,829	10,880	11,584	9,463
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	10,189	10,829	10,880	11,584	9,463
財源計(C+D)	10,204	10,831	10,895	11,584	9,463

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00367

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	1日利用者数	人	目標値	154.00	154.00	154.00
			実績値	109.88	106.56	
			達成度(%)	71.40	69.20	
目標値の積算方法	利用定員数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	98.57	108.71	
			一般財源(千円)	98.55	108.71	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	延利用者数	人	目標値	52,091.00	52,091.00	52,091.00
			実績値	37,087.00	35,933.00	
			達成度(%)	71.20	69.00	
目標値の積算方法	全5施設の開所日数×利用定員数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.29	0.32	
			一般財源(千円)	0.29	0.32	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は、増額を検討する必要がある。(理由：老朽化による修繕費の増加、給湯器取替、浴室リフト取替などが想定されるため。)</p> <p>【指標数値の評価】施設の管理運営は各指定管理者が行っているため、数値化できる統一した具体的な活動指標を設定することが難しい。修繕費は施設の老朽化にともない増加することが見込まれている。今後も安定的な運営ができるよう修繕等を行う必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 全体では目標とする効果が出ており、事業費も適正である。一部の施設では稼働率が減少しており、利用者の増加につながる手法の検討などが必要である。また老朽化に伴い修繕費等の増加が見込まれる。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	通所介護事業(デイサービス事業)	事業区分	その他
事務事業番号	00367				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00367
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

持続可能性の①②が1点となっておりますが、実施施設の老朽化等が進み、施設の維持管理のためには修繕、備品整備を行う必要があり、年々修繕工事が必要な箇所が増えております。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1妥当性) 指定管理者制度を導入しており、介護報酬その他利用料金等は指定管理者の収入とする利用料金制としている。5年ごとに指定管理候補者選定委員会を行い、最適な指定管理者に管理運営してもらうことで、高齢者の福祉の向上及びその介護者の負担の軽減につながっている。</p> <p>(2有効性) 全体としては目標どおりに成果が出ているが、一部の施設においては利用者が減少傾向にあり事務手法など検討の余地がある。</p> <p>(5持続可能性) 施設の備品や修繕に係る費用などは建築年数とともに増加が見込まれている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月16日
18時09分59秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00368	高齢者支援事業者との連携による見守り事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	04	地域での暮らしを支えるまちづくり							
細節	13	住み慣れた地域での生活を支える地域福祉の充/支え合いのネット							
予算事業	10266	01	03	01	03	02	08	01	高齢者支援事業者との連携による見守り事業（老人福祉費）
所属長	今峰 みちの				担当者（内線）松本（2528）				
根拠法令等	吹田市高齢者見守り体制づくり実施要領								
事業開始年度	平成23年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	庶務担当室名を変更								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者 高齢者のみで構成される世帯等		
目標	高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けるための支援体制の確立		
結果	ひとり暮らし高齢者等の安心・安全な暮らしが確保されます。		
事業概要	高齢者と関わりのある地域の様々な業種（郵便局や宅配業者、介護保険事業者等）の事業者と連携し、ひとり暮らし高齢者等を地域全体で支援し、見守る体制をつくります。事業者が日常業務の範囲内でひとり暮らし高齢者等の異変に気づいた場合に、地域包括支援センターに連絡することにより、早期に問題を発見し、効果的な支援へつなげます。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	168	185	52	51	108
人件費職員数(人)	0.15	0.15	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	1,226	1,185	806	783	795
総事業費(A+B)	1,394	1,370	858	834	903
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,394	1,370	858	834	903
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,394	1,370	858	834	903
財源計(C+D)	1,394	1,370	858	834	903

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00368

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	高齢者支援事業者の延登録事業者数	事業者	目標値	450.00	500.00	581.00
			実績値	502.00	527.00	
			達成度(%)	111.60	105.40	
目標値の積算方法	第6期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の高齢者支援事業者の目標値。(平成30年度は予算積算値)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2.73	1.58	
			一般財源(千円)	2.73	1.58	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	高齢者支援事業者の延登録事業者数	事業者数	目標値	450.00	500.00	581.00
			実績値	502.00	527.00	
			達成度(%)	111.60	105.40	
目標値の積算方法	第6期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の高齢者支援事業者の目標値。(平成30年度は予算積算値)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2.73	1.58	
			一般財源(千円)	2.73	1.58	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	民間事業者からの地域包括支援センターへの連絡件数(平成29年度からシステムで計上が可能)	連絡件数	目標値	0.00	180.00	180.00
			実績値	0.00	172.00	
			達成度(%)	0.00	95.60	
目標値の積算方法	1か月あたり1件の連絡*15地域包括支援センター*12か月	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	4.85	
			一般財源(千円)	0.00	4.85	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費の評価】高齢者や高齢者のみの世帯の増加と高齢支援事業者の登録数の増加から事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】高齢者人口が増加し、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等の増加が見込まれる中、民間事業者とも連携し、新たな支援体制を確立していくことが不可欠である。高齢者支援事業者を増やすため、「大阪府高齢者にやさしい地域づくり推進協定」と締結した事業者の登録等により、啓発事業者数が増加しており、指標評価は妥当である。</p> <p>【今後の方向性】事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、地域全体で見守る体制をつくることで、ひとり暮らし高齢者等の安心・安全を確保することができるので、継続することが妥当である。</p>		

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室支援グループ	事業名	高齢者支援事業者との連携による見守り事業	事業区分	その他
事務事業番号	00368				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室支援グループ	事務事業番号	00368
-----	-------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>ひとり暮らしの高齢者等を地域全体で支援するため、これまでの地域の見守り活動を行っていただいている方々に加え、高齢者と関わりのある地域の事業者の方々にご協力いただくことにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための見守り体制が強化されています。今後も市報や様々な会議等で啓発を行い、事業者登録を奨めていく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月25日
16時09分07秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00370	高齢者いこいの間事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
細節	10	高齢者の社会参加・生きがい事業の推進		
予算事業	10272	01	03	01
所屬長	今峰 みちの	03	04	01
根拠法令等	吹田市高齢者いこいの間設置運営要項			
事業開始年度	昭和54年度	直近の改正	平成25年度	
改正内容	吹二地区高齢者いこいの間の所在地の変更			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	高齢者いこいの間		
目標	高齢者の教養の向上、親睦及びレクリエーション等のために高齢者いこいの間を設置します。		
結果	高齢者の心身の健康の増進を図ります。		
事業概要	<p>施設の利用者は、当該施設の設置地区に居住するおおむね60歳以上の高齢者とし、利用期間は、1月4日から12月28日の午前10時から午後5時までとしています。ただし、事業内容により、午後10時まで延長することができます。施設の管理は、地元高齢クラブ連合会等に無償で依頼しています。施設の管理者である高齢クラブ連合会長等は、毎月利用状況を翌月の15日までに報告します。</p> <p>利用料は無料です。</p>		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
□ 補助金・負担金	主な委託内容		
	交付先①		
	交付先②		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	5,126	12,239	5,125	4,559	7,817
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	13,296	20,139	13,177	12,611	15,762
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	13,296	20,139	13,177	12,611	15,762
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	13,296	20,139	13,177	12,611	15,762
財源計(C+D)	13,296	20,139	13,177	12,611	15,762

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00370

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	いこいの間の利用人数	人	目標値	87,481.00	85,546.00	89,480.00
			実績値	85,546.00	89,480.00	
			達成度(%)	97.80	104.60	
目標値の積算方法	実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.24	0.14	
			一般財源(千円)	0.24	0.14	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
<p>成果内容</p> <p>地域の高齢者に活動の場を提供することによって、親睦を深め、レクリエーション等を行い、高齢者の生きがいがづくり、健康の増進に寄与しています。</p>	<p>達成状況</p> <p>地域の高齢者の活動の場を提供すること、及び高齢者の生きがいがづくり、健康の増進が図れました。</p>

<総合評価>

<p>今後の方向性(一次評価)</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定</p>	
<p>評価の説明</p> <p>高齢者いこいの間は、地域における高齢者の教養の向上、生きがいがづくり、親睦、レクリエーション及びコミュニケーションの場として、高齢クラブの活動拠点として、高齢者が生きがいをもち、いきいきと健康に暮らしていくために必要な施設で、地元高齢クラブ連合会に無償で管理を依頼しており事業費は適切である。 高齢社会の進展に伴い、今後ますます地域に密着した施設として、目標とする効果が出ており、必要性があることから、本事業は継続すべきである。</p>	

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者いこいの間事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00370				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

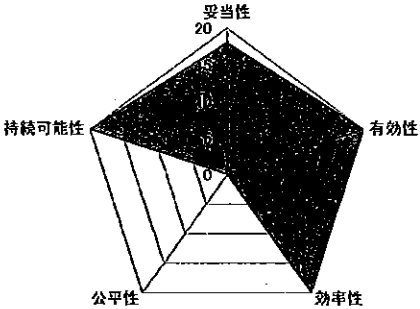
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
②サービスの水準は適正ですか。			
内部管理	点		
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	97	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00370
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

地元高齢者の活動拠点となっています。高齢者いこいの間に行けば、地元の仲間と会って語り等ができる集いの場があることで、安心して集うことができます。
施設管理は、地元高齢クラブ連合会等は無償で依頼しており、施設の施設等の管理に係る委託料や人件費は発生しません。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>地域高齢者の教養の向上、生きがいづくり、親睦、レクリエーション及びコミュニケーションの場として、また、高齢クラブの活動拠点として成果を上げています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
12時57分42秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00371	高齢者いきいの家事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
細節	10	高齢者の社会参加・生きがい事業の推進		
予算事業	10275	01	03	01
所属長	今峰 みちの	03	04	02
根拠法令等	高齢者いきいの家条例			
事業開始年度	昭和62年度	直近の改正	平成14年度	
改正内容	名称変更			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	おおむね60歳以上の高齢者		
目標	高齢者の相互交流と社会参加を促進すると共に、高齢者の自立支援を図ります。		
結果	高齢者の福祉の増進		
事業概要	高齢者に対する生活相談及び教養講座の実施や、高齢者の健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための場の提供を行っています。 利用料は無料です。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	北大阪興業（株）他5社
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	警備、清掃、消防設備点検等
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	12,817	11,221	12,653	10,800	12,430
人件費職員数(人)	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,987	8,690	8,858	8,858	8,740
総事業費(A+B)	21,804	19,911	21,511	19,658	21,170
特定財源(C)	580	566	566	14	561
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	580	566	566	14	561
市負担(D)	21,224	19,345	20,945	19,644	20,609
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	21,224	19,345	20,945	19,644	20,609
財源計(C+D)	21,804	19,911	21,511	19,658	21,170

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00371

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	各種講座参加人数	人	目標値	1,207.00	1,488.00	1,557.00
			実績値	1,488.00	1,557.00	
			達成度(%)	123.30	104.60	
目標値の積算方法	実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	13.38	12.63	
			一般財源(千円)	13.00	12.62	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	高齢者いこいの家利用人数	人	目標値	8,294.00	8,276.00	9,339.00
			実績値	8,276.00	9,339.00	
			達成度(%)	99.80	112.80	
目標値の積算方法	実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2.41	2.10	
			一般財源(千円)	2.34	2.10	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：職員体制のうち常勤職員を1名とし人件費を節約している。また、利用人数の増加等目標とする効果が出ている。)</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると、事業成果は現状で妥当である。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。また、会計年度任用職員制度の導入も見据え、更なるコストの軽減(人件費の削減)の点から指定管理導入の検討も必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者いこいの家事業	事業区分	その他
事務事業番号	00371				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

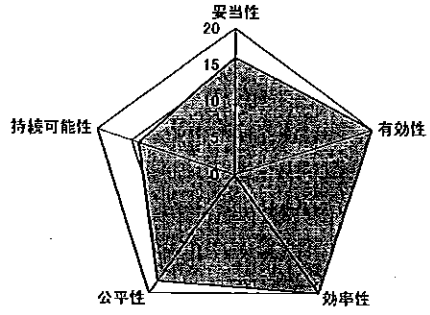
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00371
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

第7期吹田健やか年輪プランにおいて、生きがいきづくり・健康づくりの推進に必要な施設としています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>高齢者の相互交流と社会参加の促進を図るとともに、健康の増進のため必要な成果をあげています。 指定管理者制度の導入に向けて検討を行います。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月25日
16時11分04秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00372	高齢クラブ活動補助事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり							
細節	10	高齢者の社会参加・生きがい事業の推進							
予算事業	10276	01	03	01	03	04	03	01	高齢クラブ活動補助事業（老人福祉費）
所属長	今峰 みちの				担当者（内線）齋藤 昇（2543）				
根拠法令等	（国）老人福祉法、（国）在宅福祉事業費補助金交付要綱、（府）在宅高齢者福祉対策補助金交付要綱								
事業開始年度	昭和51年度		直近の改正		平成28年度				
改正内容	（市）吹田市高齢クラブ活動補助金交付要綱における単位高齢クラブの会員要件50人以上からを30人以上に緩和。所管部長の名称変更。								
市単独事業区分	○ 全部 ● 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり） 吹田市高齢クラブ連合会社会奉仕活動のみ市単独事業								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市高齢クラブ連合会、単位高齢クラブ		
目標	高齢クラブ活動を助成することにより、会員の教養の向上及び健康の増進を図ります。		
結果	高齢者の生活を健全で豊かなものとし、高齢者の福祉を増進します。		
事業概要	<p><吹田市高齢クラブ連合会> 市内全域を対象とし、市内のほとんどの高齢クラブが加入している高齢クラブ連合会に対し、申請に基づき活動補助金を交付します。</p> <p><単位高齢クラブ> 同一地域内に居住する高齢者で組織され、30人以上の会員が加入する高齢クラブに対し、申請に基づき活動補助金を交付します。各クラブは、補助金のほか会員から集めた会費により、運営しています。</p> <p><吹田市高齢クラブ連合会社会奉仕活動> 9月20日を中心に市内全域で実施する吹田市高齢クラブ連合会の環境美化等の社会奉仕活動に対し、補助金を交付します。</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		吹田市高齢クラブ連合会、単位高齢クラブ	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	14,631	13,990	14,219	13,725	14,103
人件費職員数(人)	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	5,311	5,135	5,234	5,234	5,165
総事業費(A+B)	19,942	19,125	19,453	18,959	19,268
特定財源(C)	7,641	6,958	7,381	7,045	7,381
国	0	0	0	0	0
府	7,641	6,958	7,381	7,045	7,381
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	12,301	12,167	12,072	11,914	11,887
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	12,301	12,167	12,072	11,914	11,887
財源計(C+D)	19,942	19,125	19,453	18,959	19,268

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00372

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	高齢クラブ会員数	人	目標値	14,046.00	13,735.00	13,354.00
			実績値	13,735.00	13,354.00	
			達成度(%)	97.80	97.20	
目標値の積算方法	会員数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.39	1.42	
			一般財源(千円)	0.89	0.89	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	60歳以上に占める会員の比率	%	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	13.20	12.70	
			達成度(%)	26.40	25.40	
目標値の積算方法	会員数÷60歳以上の住民登録者数×100	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,448.86	1,492.83	
			一般財源(千円)	921.74	938.11	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>高齢クラブ活動補助金は、市費だけではなく、国及び府からの補助も受ける中で、高齢クラブ活動に対して有効に活用されて、高齢者福祉の増進が図られています。高齢クラブの社会奉仕活動、文化教養活動、及び健康増進活動を通じ、地域の高齢者の活動事業に対して有効に機能しており、事業費は適切である。</p> <p>今後、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年を見据えて、ひとり暮らしの高齢者や老老世帯が増える超高齢社会の中で、地域のコミュニティとして、地域の見守り隊として、外出支援の担い手として、介護予防を率先して推進する活動隊として、高齢クラブが果たす役割はますます重要性を増しており、目標とする効果が出ていないが、事業費は妥当であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢クラブ活動補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00372				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・相拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00372
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

高齢クラブは、地域の担い手として重要な役割を果たしています。高齢クラブが活性化することで、本市が進める地域包括ケアの一翼を担えるものと考えています。民間の有料のサービスとは異なり、ボランティアで鍵を預かったり、ごみを出したり、お使いをしたりするなどの高齢者の生活支援サービスの提供者につながっていきます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>高齢クラブは、平成29年度の会員数は13,354人で、高齢者の活動組織として有効に機能しています。しかし、会員を集めることが困難なクラブや、会員の高齢化により、活発な活動の継続が困難なクラブもあり、加入率の維持・向上が課題となっています。</p> <p>大阪府において、平成23年度からの高齢クラブへの補助金は、「規模に応じた補助」から「事業費補助」へと変更され、会員数の要件が50人以上から30人以上へと緩和されています。</p> <p>本市においても事業費補助を実施しており、平成28年度からは、会員要件を50人以上から30人以上へと緩和して、高齢クラブ数の減少に歯止めをかける拡充策を実施しました。この拡充策により、地域での活動の維持・活性化を図り、高齢者の生きがいづくり、健康づくりを支援しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

老人福祉法において、第4条で「国及び地方公共団体は、老人の福祉を増進する責務を有する」として老人福祉増進の責務を、第10条の3で「市町村は、一、中略、老人クラブその他老人の福祉を増進することを目的とする事業を行う者一、中略、一、地域の実情に応じた体制の整備に努めなければならない」として支援体制の整備を、規定しています。

国は、『老人クラブ活動等事業の実施については、一、中略、一、介護予防・生活支援事業の実施について』により実施してきたところであるが、活力ある高齢社会を構築していくためには、高齢者が主体となって活躍していくことが今後ますます求められるところであるとして、介護予防・生活支援事業のうち老人クラブの活動については、より一層の活性化を図ることとし、一、中略、一、については、本事業の積極的な実施に努められるよう特段の配慮をお願いするとともに、貴管内市町村に対して、周知徹底を図るなど、事業の円滑な実施について御協力を賜りたい」としています。(平成21年6月15日都道府県知事宛厚生労働省老健局長通知)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月25日
16時13分21秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00373	高齢者友愛訪問事業			
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり			
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり			
細節	10	高齢者の社会参加・生きがい事業の推進			
予算事業	10277	01	03	01 03 04 04 01	高齢者友愛訪問事業（老人福祉費）
所属長	今峰 みちの		担当者（内線）齋藤 昇（2543）		
根拠法令等	なし（毎年度起案処理）				
事業開始年度	昭和50年度	直近の改正	平成20年度		
改正内容	対象者の見直し				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	75歳以上の一人暮らし高齢者・寝たきり高齢者世帯、65歳から74歳までの寝たきりや一人暮らしで声かけや見守りが必要な者		
目標	高齢者の孤独感を解消し、地域社会との交流を深め、老後の生きがいを高めます。		
結果	高齢者の福祉の促進		
事業概要	<p>高齢クラブが、寝たきり高齢者及びひとり暮らしの高齢者を訪問することにより、高齢者の孤独感を解消し、地域社会との交流を深めます。日常生活の状況把握などを行い、老後の生きがいを高めるための適切な助言や連絡をします。訪問対象者の利用料等の負担はありません。</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	吹田市高齢クラブ連合会
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	寝たきり及びひとり暮らし高齢者の訪問激励
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	5,812	5,812	5,812	5,812	5,812
人件費職員数(人)	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,226	1,185	1,208	1,208	1,192
総事業費(A+B)	7,038	6,997	7,020	7,020	7,004
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	7,038	6,997	7,020	7,020	7,004
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	7,038	6,997	7,020	7,020	7,004
財源計(C+D)	7,038	6,997	7,020	7,020	7,004

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00373

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	訪問実施クラブ数	クラブ	目標値	211.00	208.00	206.00
			実績値	208.00	206.00	
			達成度(%)	98.60	99.00	
目標値の積算方法	実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	33.64	34.08	
			一般財源(千円)	33.64	34.08	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	訪問者数	件	目標値	4,111.00	4,262.00	4,271.00
			実績値	4,262.00	4,271.00	
			達成度(%)	103.70	100.20	
目標値の積算方法	実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.64	1.64	
			一般財源(千円)	1.64	1.64	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>高齢クラブは、社会奉仕・地域見守り活動として、同事業を行っています。この事業を通じて、高齢者同士で励まし合い、積極的に仲間と交流して、健康で心の温まる生活を営むことができるようになり、効果を上げています。さらに、何かあったときなど緊急時には、すぐに駆けつけることができる顔の見えるつながりも確保されます。高齢者が住み慣れた地域で、安心・安全に永く暮らし続けられるように、孤立防止の取組を推進し、地域で見守りし、また、年に1回は訪問時に手作り品を作成し持参することで、訪問する高齢者自身の生きがいが高めることにもつながっています。高齢社会を支える重層的なネットワークのひとつとして重要な事業であり、事業費は適切である。</p> <p>目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者友愛訪問	事業区分	その他
事務事業番号	00373				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		o. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00373
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業は、地域の地縁組織である高齢クラブに委託して実施しています。本市では、地域の見守り・声かけ活動は、ほかに民生委員、地区福祉委員会、社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカー等の活動、新聞配達・郵便配達・牛乳配達等高齢支援事業者との連携によるものなど、複層的な見守りの網掛けで実施しています。その見守りネットワークの中にあつて、被訪問者には、高齢クラブによる訪問が身近かで信頼ができる心強い活動となっています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>高齢クラブは社会奉仕・地域見守り活動として、同事業を行っており、この事業を通じて高齢者同士で励まし合い、積極的に仲間と交流し、健康で心の温まる生活を営むことができるようになり、効果を上げています。さらに、何かあったときなど緊急時には、すぐに駆けつけることができる顔の見えるつながりも確保されています。</p> <p>また、年に1回は訪問時に手作り品を作成し持参することで、訪問する高齢者自身の生きがいが高めることにもつながっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月31日
13時41分04秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00374	在日外国人高齢者給付金支給事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
細節	10	高齢者の社会参加・生きがい事業の推進		
予算事業	10278	01	03	01 03 04 05 01
所属長	今峰 みちの		担当者（内線）落（2542）	
根拠法令等	吹田市在日外国人高齢者給付金支給要綱			
事業開始年度	平成7年度	直近の改正	平成24年度	
改正内容	外国人登録法の廃止に伴い、支給対象者の要件について規定整備を行うため、要綱を一部改正			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	国籍による制限のため国民年金の支給を受けることができない在日外国人である高齢者		
目標	給付金を支給します。		
結果	在日外国人である高齢者の福祉の増進を図ります。		
事業概要	国籍による制限のため国民年金の支給を受けることができない在日外国人である高齢者に対し、在日外国人高齢者給付金（1人月額1万円）を支給します。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,200	1,200	1,320	1,030	1,080
人件費職員数(人)	0.15	0.15	0.10	0.13	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,226	1,185	806	1,047	795
総事業費(A+B)	2,426	2,385	2,126	2,077	1,875
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,426	2,385	2,126	2,077	1,875
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,426	2,385	2,126	2,077	1,875
財源計(C+D)	2,426	2,385	2,126	2,077	1,875

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00374

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	受給者数	人	目標値	9.00	9.00	7.00
			実績値	10.00	8.00	
			達成度(%)	111.10	88.90	
目標値の積算方法	支給対象者数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	238.50	259.63	
			一般財源(千円)	238.50	259.63	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 1人の転入者及び亡くなられた人が3人、給付対象者数2人の減少で対象者には全員給付することができました。	達成状況 在日外国人である高齢者の福祉の増進を図ることができました。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	国籍による制限のために国民年金の支給ができない外国人である高齢者に支給する制度であり、事業費は適切であります。 事業の目的及び対象者(給付金受給者)の置かれている状況等を勘案し、現行どおり継続とします。

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	在日外国人高齢者給付金支給事業	事業区分	その他
事務事業番号	00374				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00374
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

対象者は他市からの転入等により増加する場合があります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>対象者(給付金受給者)は減少していますが、事業の目的は適切なものであり、目的と対象者の一致は適正です。事業の実施意義は高く、今後も現行どおり実施する必要があると考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
15時14分21秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00375	シルバー人材センター補助事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
網節	10	高齢者の社会参加・生きがい事業の推進		
予算事業	10279	01 03 01 03 04 06 01	シルバー人材センター補助事業（老人福祉費）	
所属長	今峰 みちの		担当者（内線）落（2542）	
根拠法令等	（公社）吹田市シルバー人材センター補助金交付要領、吹田市高齢者地域安心いきいき事業補助金交付要領			
事業開始年度	昭和55年度	直近の改正	平成25年度	
改正内容	要領の名称変更			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	おおむね60歳以上の高齢者		
目標	高齢者の就業機会の提供		
結果	就業機会の提供を通じて高齢者福祉の増進を図ります。		
事業概要	（公社）吹田市シルバー人材センターに対する運営費・高齢者地域安心いきいき事業経費の補助		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	（公社）吹田市シルバー人材センター	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	20,128	20,128	20,128	20,128	20,128
人件費職員数(人)	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,226	1,185	1,208	1,208	1,192
総事業費(A+B)	21,354	21,313	21,336	21,336	21,320
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	21,354	21,313	21,336	21,336	21,320
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	21,354	21,313	21,336	21,336	21,320
財源計(C+D)	21,354	21,313	21,336	21,336	21,320

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00375

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	会員数	人	目標値	1,784.00	1,842.00	1,907.00
			実績値	1,842.00	1,894.00	
			達成度(%)	103.30	102.80	
目標値の積算方法	第7期吹田健やか年輪プラン目標値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	11.57	11.27	
			一般財源(千円)	11.57	11.27	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	年間就業延人員	人	目標値	200,860.00	206,467.00	209,288.00
			実績値	206,467.00	209,288.00	
			達成度(%)	102.80	101.40	
目標値の積算方法	実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.10	0.10	
			一般財源(千円)	0.10	0.10	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	契約件数	件	目標値	3,707.00	3,322.00	3,325.00
			実績値	3,322.00	3,325.00	
			達成度(%)	89.60	100.10	
目標値の積算方法	実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6.42	6.42	
			一般財源(千円)	6.42	6.42	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	シルバー人材センターは、高齢者の労働能力の活用と就業機会の増大を図ることを目的とし、自ら生きがいの充実や社会参加を希望する高齢者に対し、臨時的・短期的な仕事を提供する場であり、事業は適切であります。契約件数は減少傾向にあり、同センターの運営状況は厳しいものとなっていますので、今後は国の補助と併せ、市からの補助は必要であると考えて事業は継続をすべきであります。

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	シルバー人材センター補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00375				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点	
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	92	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点	
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00375
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

シルバー人材センターは、定年退職後等の高齢者に対して、雇用関係ではない就業を会員(原則60歳以上)に提供するとともに、ボランティア活動をはじめとする多様な社会参加を通じて、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上・活性化に寄与しています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>シルバー人材センターは、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に規定されており、国からも別途補助を受けています。 会員は、長年培った技術や経験を生かしながら仕事を通して社会に貢献しており、また、会員同士で書道や七宝焼き、パソコン同好会などの活動も行っており、高齢者の生きがいづくりにも寄与しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成29年度制定の指針により外郭団体として位置づけられ、透明性や公平性、効率性などがこれまで以上に求められます。また、中期計画の振り返りと補助金の算出根拠、金額等、補助内容の見直しが必要です。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
15時17分05秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00376	シルバーワークプラザ管理事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
細節	10	高齢者の社会参加・生きがい事業の推進		
予算事業	10280	01	03	01 03 04 07 01
所属長	今峰 みちの		シルバーワークプラザ管理事業（老人福祉費） 担当者（内線）落（2542）	
根拠法令等	高齢者等の雇用の安定等に関する法律			
事業開始年度	平成7年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	シルバーワークプラザ施設の維持管理		
目標	維持管理		
結果	長期保全		
事業概要	シルバーワークプラザ施設の維持管理		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	大阪美装工業（株）
		委託先②	（株）双葉化学商会
		委託先③	寺岡オート・ドアシステム（株） 他6社
	主な委託内容		清掃、警備、自動ドア保守点検など維持管理
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	5,111	5,111	4,759	4,706	20,831
人件費職員数(人)	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,226	1,185	1,208	1,208	1,192
総事業費(A+B)	6,337	6,296	5,967	5,914	22,023
特定財源(C)	935	766	830	829	830
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	935	766	830	829	830
市負担(D)	5,402	5,530	5,137	5,085	21,193
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,402	5,530	5,137	5,085	21,193
財源計(C+D)	6,337	6,296	5,967	5,914	22,023

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00376

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	維持管理委託料	円	目標値	2,820,000.00	2,731,000.00	2,646,000.00
			実績値	2,706,477.00	2,644,881.00	
			達成度(%)	96.00	96.80	
目標値の積算方法	実績による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	シルバー人材センターの活動拠点であるシルバーワークプラザを適正に維持管理することで、シルバー人材センター設置目的の推進に寄与します。	達成状況	必要な箇所を適宜修繕するなど、維持管理に必要な措置を講じています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>シルバーワークプラザの施設管理を行う事業です。この建物は国庫補助金の対象であり、事業費は適切であります。</p> <p>シルバーワークプラザの施設竣工後23年が経過しており、空調設備等の工事や修理が必要ですが継続すべきであります。</p>		

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	シルバーワークプラザ管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00376				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00376
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

持続可能性について、建築後20年が経過しており、大規模改修等により今後の事業費が増大する見込みがあります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市シルバーワークプラザは、平成7年(1995年)4月に、高齢者の生きがい、社会参加としての就業及びその機会の拡大や能力開発を図ることを目的として、事務所、作業所、会議室等を有する施設として建設されました。現在、シルバー人材センターの事務所のほか、シルバー会員の作業場、いきがい教室の開催場所として有効に活用しています。建築後20年が経過し、修繕費用が毎年増加しており、屋上防水や外壁塗装等の大規模改修が必要です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
15時30分07秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00377	いきがい教室開催事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
細節	10	高齢者の社会参加・いきがい事業の推進		
予算事業	10281	01	03	01
所屬長	今峰 みちの	03	04	08
根拠法令等	吹田市いきがい教室実施要領			
事業開始年度	昭和54年度	直近の改正	平成30年度	
改正内容	開講科目の一部変更			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	60歳以上の高齢者		
目標	初歩的な趣味教室への参加を通じて、仲間づくりと教養の向上を図ります。		
結果	高齢者へのいきがいの提供		
事業概要	20科目の教室を開講し、受講者を公募します。また、年度末には発表会を開催し、1年間の成果を披露します。教室、発表会を併せ、管理運営は吹田市高齢クラブ連合会に委託しています。受講料は無料ですが、教材費やテキスト代等は自己負担です。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	吹田市高齢クラブ連合会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	いきがい教室及び発表会の管理運営
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,856	3,856	3,856	3,856	3,856
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.35	0.35	0.35
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	2,819	2,819	2,781
総事業費(A+B)	6,307	6,226	6,675	6,675	6,637
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	6,307	6,226	6,675	6,675	6,637
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,307	6,226	6,675	6,675	6,637
財源計(C+D)	6,307	6,226	6,675	6,675	6,637

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00377

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	参加申込者数	人	目標値	568.00	583.00	584.00
			実績値	635.00	627.00	
			達成度(%)	111.80	107.50	
目標値の積算方法	定員	単位当たりコスト	総事業費(千円)	9.80	10.65	
			一般財源(千円)	9.80	10.65	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	延べ受講者数	人	目標値	7,435.00	7,651.00	7,682.00
			実績値	6,585.00	6,768.00	
			達成度(%)	88.60	88.50	
目標値の積算方法	各教室の受講者見込数×開講日数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.95	0.99	
			一般財源(千円)	0.95	0.99	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	事業費は適切である。(理由:高齢者の生きがいの提供及び社会参加の推進に効果があるため。)指標数値の推移を踏まえると、事業成果は現状で妥当である。事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	いきがい教室開催事業	事業区分	その他
事務事業番号	00377				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	94	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00377
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

本事業は、個人の教養増加の満足にとどまらず、友人や地域住民へ習得知識の還元を行い、そのことによって、交流の輪を広げ、結果として本人の生きがいにつながることを目指して取り組んでいます。
 ただし、時代の変化により求められる教室なども変化していくものと考えており、受講者のニーズに沿った教室の見直しなどを行っているところです。公平性について、参加者の公募の際は、同じ科目の受講回数が3回を超えた場合は受講対象から除外するなど、多くの高齢者が受講できるようにしています。

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月31日
14時51分14秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00378	高齢者団体用福祉バス貸付事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり							
細節	i0	高齢者の社会参加・生きがい事業の推進							
予算事業	10282	01	03	01	03	04	09	01	高齢者団体用福祉バス貸付事業（老人福祉費）
所属長	今峰 みちの			担当（内線）落（2542）					
根拠法令等	吹田市高齢者団体用福祉バス貸付事業実施要綱								
事業開始年度	昭和54年度		直近の改正		平成15年度				
改正内容	対象団体の名称変更								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	吹田市高齢クラブ連合会、単位高齢クラブ、その他市長が適当と認める団体		
目標	バスを貸し付けることにより高齢者等の積極的な社会参加を促進します。		
結果	高齢者等の福祉の増進		
事業概要	吹田市高齢クラブ連合会、単位高齢クラブ等の高齢者団体に対し、大型バスを平日の9時～17時の間で貸し出します。 利用料は無料（ただし、有料道路通行料金、駐車場料金は団体の負担）です。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株) 国際興業大阪
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	バスの運行
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	14,405	14,405	13,174	12,347	13,174
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	16,856	16,775	14,785	13,958	14,763
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	16,856	16,775	14,785	13,958	14,763
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	16,856	16,775	14,785	13,958	14,763
財源計(C+D)	16,856	16,775	14,785	13,958	14,763

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00378

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	運行台数	台	目標値	110.00	110.00	110.00
			実績値	110.00	110.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	契約台数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	152.50	126.89	
			一般財源(千円)	152.50	126.89	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	利用者数	人	目標値	5,390.00	5,390.00	5,390.00
			実績値	4,990.00	5,017.00	
			達成度(%)	92.60	93.10	
目標値の積算方法	契約台数×49人	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3.36	2.78	
			一般財源(千円)	3.36	2.78	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	高齢者団体用福祉バス貸付は、高齢者の福祉の増進を図ることを目的とし高齢者関係団体に対して実施している事業であり、事業費は適切であります。 社会参加の機会が減少傾向にある高齢者に手軽に参加できる手段を提供することは、高齢者の生きがいを高め、社会参加の推進に効果があることから、継続とします。

事務事業分析シート

2018/8/179:27

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者団体用福祉バス貸付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00378				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【ブルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることが出来る。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00378
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成23年度の事業見直しにより、貸付台数を190台から110台に縮小しました。市民ニーズが高い事業であり、以降は110台の貸付台数を確保しています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>心身の機能が低下しがちな高齢者は社会参加の機会が減少傾向にあり、家に閉じこもってしまう問題が生じています。外出する機会が少ない中で、高齢者同士が気軽に参加し、外出できる機会や手段を提供することは、高齢者の生きがい及び、社会参加の推進に効果があります。また、閉じこもりの防止にも寄与しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成26年4月から、国土交通省の貸切バスの安全性向上を図る取組の一環として、貸切バスの運賃制度が見直され、バス1台当たりの運賃の算出方法が「時間制運賃」と「キロ制運賃」を合算して運賃を算出するとされました。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
13時34分27秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00380	ふれあい交流サロン事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり							
細節	10	高齢者の社会参加・生きがい事業の推進							
予算事業	10284	01	03	01	03	04	11	01	ふれあい交流サロン事業（老人福祉費）
所屬長	今峰 みちの			担当者（内線）福永（2543）					
根拠法令等	ふれあい交流サロン事業補助金交付要綱								
事業開始年度	平成17年度	直近の改正	平成30年度						
改正内容	補助金の増額等に伴う条文改正								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	高齢者と世代の異なる市民		
目標	世代間交流の推進と高齢者の閉じこもり対策		
結果	高齢者福祉の増進		
事業概要	高齢者と、世代の異なる市民がいつでも気軽に利用できるサロンを設ける団体に助成します。 ふれあい交流サロンでは、各団体がサロン利用者にコーヒー等の飲み物を100円の負担で提供する事業、芋ほり・エコクラフト等の利用者参加型のイベント及び体操や講座等の介護予防の取組を実施しています。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
	■ 補助金・負担金	交付先①	市民団体 4団体
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,783	2,716	2,783	2,642	4,769
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	4,417	4,296	4,394	4,253	6,358
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,417	4,296	4,394	4,253	6,358
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,417	4,296	4,394	4,253	6,358
財源計(C+D)	4,417	4,296	4,394	4,253	6,358

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00380

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	開所日数	日	目標値	803.00	823.00	811.00
			実績値	823.00	811.00	
			達成度(%)	102.50	98.50	
目標値の積算方法	実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5.22	5.24	
			一般財源(千円)	5.22	5.24	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	利用者数	人	目標値	21,056.00	21,032.00	23,067.00
			実績値	21,032.00	23,067.00	
			達成度(%)	99.90	109.70	
目標値の積算方法	実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.20	0.18	
			一般財源(千円)	0.20	0.18	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性 (一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>事業費は増額を検討する必要がある。(理由:ふれあい交流サロンの移転、増設に向けて平成30年度にふれあい交流サロンの実施施設の移転に係る費用と運営費補助に係る補助金の加算額を増額する。)</p> <p>活動指標である開所日数は減少したが、成果指標である利用者数は増加しており、開所日数当たりの利用者数も増加していることから、ふれあい交流サロン事業の市民ニーズは高まっている。</p> <p>事業費等の評価や指標数値の評価を踏まえると、事業費が低いことにより活動量を確保できていないため、拡充が必要である。(平成30年度当初予算から拡充)</p> <p>また、高齢者にとって、世代間交流や外出の機会を増やすことは、介護予防に資することから、ふれあい交流サロン事業を地域における住民主体の介護予防活動と位置づけ、より強化していくことが求められる。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	ふれあい交流サロン事業	事業区分	その他
事務事業番号	00380				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(2)③について、第6期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において、実施団体数の目標を平成29年度6団体とし、また、第7期吹田健やか年輪プランでは平成31年度の目標を12団体としていますが、現状は4団体に留まっており、実施団体を増やすため、積極的に公募を行っていく必要があります。

(3)④について、各団体が実施するミニ生け花教室、芋ほり及びエコクラフト等の行事については、各団体の意向や各団体で活動可能なボランティアに依存するところが大きく、市で検討する事業手法等で改善することが困難な場合があります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市内4か所でふれあい交流サロンを実施しています。サロンの利用者数は直近は減少が続いていたものから増加に転じ、多くの高齢者が利用していることから、サロンは高齢者の社会参加を促進し、介護予防や地域の情報を得る場所として役立っています。</p> <p>また、高齢者が、子ども達や子育て世代の親などと交流することで、地域の活性化にも繋がっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の平成32年KPIで、ふれあい交流サロン整備数12か所を目標に掲げています。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月31日
15時50分07秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00381	地区敬老行事開催事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり							
細節	10	高齢者の社会参加・生きがい事業の推進							
予算事業	10285	01	03	01	03	05	01	01	地区敬老行事開催事業（老人福祉費）
所属長	今峰 みちの			担当者（内線）		中田（2543）			
根拠法令等	老人福祉法、吹田市地区敬老行事補助金交付要綱								
事業開始年度	昭和38年度	直近の改正	平成26年度						
改正内容	帳簿等の保管期間を延長するための条文改正								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	75歳以上の高齢者		
目標	多年にわたり、社会に貢献された高齢者を敬愛し、長寿を祝います。		
結果	高齢者福祉の増進及び地域コミュニティの強化		
事業概要	市内を最大35地区に分け、各地区敬老行事を、9月～10月に75歳以上の市民を対象に開催します。 行事の企画運営は、各地区民生・児童委員協議会を中心とした各地区敬老行事運営委員会が行い、市は実績に応じて補助金を交付します。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		地区敬老行事運営委員会（最大35団体）	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	40,683	40,034	41,811	39,908	42,864
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	48,853	47,934	49,863	47,960	50,809
特定財源(C)	70	76	70	85	70
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	70	76	70	85	70
市負担(D)	48,783	47,858	49,793	47,875	50,739
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	48,783	47,858	49,793	47,875	50,739
財源計(C+D)	48,853	47,934	49,863	47,960	50,809

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00381

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	参加者数	人	目標値	37,200.00	38,650.00	40,000.00
			実績値	27,478.00	27,786.00	
			達成度(%)	73.90	71.90	
目標値の積算方法	人口推計	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.74	1.73	
			一般財源(千円)	1.74	1.72	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	開催会場(地区)数	箇所	目標値	25.00	25.00	26.00
			実績値	25.00	25.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	実績値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,917.36	1,918.40	
			一般財源(千円)	1,914.32	1,915.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>事業費は適切である。(理由:住み慣れた身近な地域で地区敬老行事を開催することによる敬老の啓発的意義は大きく、また他の敬老関連事業が縮小する中で、本事業の重要性は増しているため。)</p> <p>指標数値の推移や、今後対象者数の増加により事業費の増加が見込まれることを踏まえると、事業成果はおおむね妥当だが、改善の余地がある。具体的には、補助金の人数割額の引下げ等を検討する必要がある。</p> <p>事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ているものの事業費の増加が見込まれるため、実施方法の検討などの事務改善を行いつつ継続することが必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	地区敬老行事開催事業	事業区分	その他
事務事業番号	00381				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【ブルダウメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(5)については、第7期吹田健やか年輪プラン(吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)の高齢者人口と高齢化率の推移によると、当該事業の対象者数は平成24年実績では33,398人であったものが、平成29年実績では41,952人(対24年比で約26%増)、平成34年推計では50,343人(対29年比で約20%増)と今後も増大していく見込みであり、今後、事業費を増加させずに事業継続を目指すのであれば、補助金の人数割額の引下げ等を検討する必要があります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>定期的に事業内容や運営方法、補助金交付要綱等の見直しを図ることで、市民ニーズや社会情勢に見合った事業内容を適正な事業費で運営しています。住み慣れた身近な地域で事業(地区敬老行事)を開催することによる敬老の啓発的意義は大きいものであります。また、他の敬老関連事業が縮小する中で、本事業の重要性は増えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
15時52分02秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00382	長寿祝賀事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
細節	10	高齢者の社会参加・生きがい事業の推進		
予算事業	10286	01	03	01 03 05 02 01
所属長	今峰 みちの		担当者（内線）中田（2543）	
根拠法令等	老人福祉法、長寿祝賀事業実施要領、長寿祝品等贈呈事業実施要領、金婚祝状贈呈事業実施要領			
事業開始年度	昭和62年度	直近の改正	平成25年度	
改正内容	平成25年度から金婚祝状贈呈事業も合わせて実施			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	100歳以上の高齢者 結婚50年を迎える夫婦		
目標	多年にわたり社会に貢献された高齢者を敬愛し、長寿及び結婚50年を祝います。		
結果	高齢者福祉の推進		
事業概要	高齢者保健福祉月間において、高齢者の長寿に祝意を表するため、100歳以上の高齢者の代表者へ市長訪問を行い、記念品を贈呈します。その他の100歳以上の高齢者には市から記念品を届けます。また、結婚50年を迎える夫婦に祝意を表するために、祝状を贈呈します。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	735	477	764	417	678
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	2,370	2,416	2,416	2,384
総事業費(A+B)	3,186	2,847	3,180	2,833	3,062
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	3,186	2,847	3,180	2,833	3,062
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,186	2,847	3,180	2,833	3,062
財源計(C+D)	3,186	2,847	3,180	2,833	3,062

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00382

2頁
平成30年 6月 6日
15時52分02秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	記念品贈呈者数	人	目標値	163.00	179.00	161.00
			実績値	141.00	142.00	
			達成度(%)	86.50	79.30	
目標値の積算方法	人口推計	単位当たりコスト	総事業費(千円)	20.19	19.95	
			一般財源(千円)	20.19	19.95	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	金婚祝状贈呈者数	組	目標値	275.00	321.00	322.00
			実績値	247.00	275.00	
			達成度(%)	89.80	85.70	
目標値の積算方法	実績値による推計	単位当たりコスト	総事業費(千円)	11.53	10.30	
			一般財源(千円)	11.53	10.30	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
<p>成果内容</p> <p>100歳以上の高齢者の代表者へ市長が訪問し、その他には市職員が訪問し記念品贈呈します。結婚50年を迎える夫婦へ祝状を贈呈することにより、高齢者の長寿に祝意を表し、敬意を表します。</p>	<p>達成状況</p> <p>高齢者への敬意と、長寿への祝意を伝えることができ、長寿を祝い高齢者を敬う社会づくりと高齢者福祉の推進につながりました。</p>

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>事業費は適切である。(理由:高齢者を敬愛し、長寿を祝うことは、老人福祉法第5条の趣旨に合致するため。)</p> <p>指標数値の推移を踏まえると、事業成果は現状で妥当である。</p> <p>事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるが、今後対象者数の増加により事業費の増加が見込まれることを踏まえ、実施方法の検討などの事務改善を行いつつ継続することが必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	長寿祝賀事業	事業区分	その他
事務事業番号	00382				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00382
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

妥当性の役割分担について、年度内に100歳を迎える人には、国の依頼により調査を行い、市から銀杯及び内閣総理大臣名での賞状を届けています。
 持続可能性について、今後も100歳以上の高齢者人口の増加が見込まれますが、贈呈する記念品を変更するなど、事業費が増大しないよう事業運営を図る必要があります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成19年度(2007年度)から平成23年度(2011年度)までは、88歳及び100歳前後の高齢者を旧西尾家及び中西家に招待していましたが、平成24年度(2012年度)からは、以前に行っていた市長の高齢者訪問に事業内容を変更しました。それに伴い、事業費の削減を行いました。市長が高齢者を訪問することによって祝意を述べ、記念品を贈呈することにより、また、平成25年度(2013年度)からは、結婚50年を迎えた夫婦に祝状を贈呈し、平成26年度(2014年度)からは、希望者に対し地区敬老行事において金婚祝状の贈呈を行うことにより、長寿を祝い、高齢者福祉を推進することができたと考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
15時53分52秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00383	寿祝品贈呈事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
細節	10	高齢者の社会参加・生きがい事業の推進		
予算事業	10287	01	03	01
所属長	今峰 みちの	06	01	01
根拠法令等	吹田市寿祝品贈呈要領			
事業開始年度	昭和55年度	直近の改正	平成23年度	
改正内容	対象者の年齢算定を行う基準日の変更（平成23年（2011年）6月24日施行）			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	米寿（88歳）、白寿（99歳）を迎える市民		
目標	長寿を祝い、記念品を贈呈します。		
結果	高齢者福祉の増進		
事業概要	住民基本台帳により、当該年度の12月30日現在の該当年齢の市民を抽出し、民生委員を通じて記念品を贈呈します。各施設在住者は市職員から贈呈します。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	吹田市民生・児童委員協議会
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	記念品の贈呈
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	7,020	6,260	7,484	6,411	7,692
人件費職員数(人)	0.25	0.25	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,043	1,975	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	9,063	8,235	9,095	8,022	9,281
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	9,063	8,235	9,095	8,022	9,281
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	9,063	8,235	9,095	8,022	9,281
財源計(C+D)	9,063	8,235	9,095	8,022	9,281

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00383

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	贈呈者数(米寿・白寿)	人	目標値	1,343.00	1,441.00	1,473.00
			実績値	1,241.00	1,281.00	
			達成度(%)	92.40	88.90	
目標値の積算方法	人口推計	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6.64	6.26	
			一般財源(千円)	6.64	6.26	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
<p>対象者が白寿と米寿の方であることから、記念品を「お米券」(白米)とし、民生委員を通じて手渡しで贈呈を行うことで、長寿を祝福しました。記念品は例年対象者から好評を得ています。</p>	<p>達成状況 高齢者福祉の増進が図れました。</p>

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>事業費は適切である。(理由: 記念品の贈呈による敬老の啓発意義は大きく、他の敬老関連事業が縮小する中で、本事業の重要性は増しているため。)</p> <p>指標数値の推移を踏まえると、事業成果は現状で妥当である。</p> <p>事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるが、今後対象者数の増加により事業費の増加が見込まれることを踏まえ、実施方法の検討などの事務改善を行いつつ継続することが必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	寿祝品贈呈事業	事業区分	その他
事務事業番号	00383				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
b. 実施意義は今もある。(3点)	3点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	88	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00383
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

持続可能性について、今後も高齢者人口の増加が見込まれますが、贈呈する記念品を変更するなど、事業費が増大しないよう事業運営を図る必要があります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>事業費について定期的に見直しを行い、事業の持続性のため記念品単価の更新を行うなど、費用抑制を図っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月15日
10時41分54秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00384	老人福祉施設建設費借入利子補給事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
細節	30	介護保険サービスの充実		
予算事業	10288	01	03	01
所属長	今峰 みちの	03	07	01
根拠法令等	社会福祉法人に対する助成に関する条例及び条例施行規則			
事業開始年度	平成7年度	直近の改正	平成24年度	
改正内容	規則に規定する必要のない様式の削除等			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	社会福祉法人		
目標	社会福祉法人による特別養護老人ホーム等の整備を促進するとともに施設運営を安定的に行えるようにします。		
結果	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に定めるサービス提供基盤の整備目標達成とともに、特別養護老人ホーム等が施設運営を安定して行うことで、利用者に提供するサービスの質が向上します。		
事業概要	特別養護老人ホーム等を整備した社会福祉法人に対し、独立行政法人福祉医療機構からの借入金に係る利子の一部を助成します。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	こばと会 他5法人	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,770	2,770	1,916	1,922	1,292
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	7,823	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	783	795
総事業費(A+B)	3,587	3,560	2,722	2,705	2,087
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	3,587	3,560	2,722	2,705	2,087
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,587	3,560	2,722	2,705	2,087
財源計(C+D)	3,587	3,560	2,722	2,705	2,087

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00384

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	利子補給額	円	目標値	2,770,000.00	1,916,000.00	1,292,000.00
			実績値	2,770,000.00	1,922,000.00	
			達成度(%)	100.00	100.30	
目標値の積算方法	各法人の利子償還表を基に補助額を算定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	補助対象となる法人	法人	目標値	7.00	4.00	4.00
			実績値	7.00	6.00	
			達成度(%)	100.00	150.00	
目標値の積算方法	補助金を交付した法人数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	508.57	450.83	
			一般財源(千円)	508.57	450.83	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性 (一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:各法人の利子償還表を基に補助額を算定しているため)</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると、事業成果は現状で妥当である。</p> <p>【今後の方向性】 特別養護老人ホーム等の整備には多額の費用を要するものであり、整備誘導を図るとともに、社会福祉法人が施設を安定的に運営していくために市財源による補助を行ってきました。国府の施設整備方針が転換され広域型大規模施設から地域密着型小規模施設へ整備の重点が移っているなかで、平成13年度以降新規案件の助成は行わないことになっています。現在続いている補助が、平成32年度をもって終了するので、その後事業を廃止します。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	老人福祉施設建設費借入利子補給事業	事業区分	その他
事務事業番号	00384				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	14	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	10	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		c. 具体的な成果があまりない状況である。(1点)	1点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	70	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00384
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

新規案件への補助は行っていないため、評価点合計は低いですが、現在、補助を行っている法人が施設の運営を安定的に行っていくためには必要な事業です。

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>対象法人は、当初から本補助金を見込んで事業を開始しており、安定的な施設運営の維持・継続を図るため、現在、補助を行っている法人に対しては、事業を続ける必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
15時58分45秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00385	高齢者生きがい活動センター事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり							
細節	10	高齢者の社会参加・生きがい事業の推進							
予算事業	10293	01	03	01	03	08	01	01	高齢者生きがい活動センター事業（老人福祉費）
所属長	今峰 みちの			担当者（内線）	落（2542）				
根拠法令等	吹田市立高齢者生きがい活動センター条例								
事業開始年度	平成23年度	直近の改正	平成24年度						
改正内容	指定管理者候補者選定委員会の条文の追加								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他			
対象	60歳以上高齢者			
目標	高齢者が教養を深め、又は相互に交流することにより、生きがいづくりをすすめます。			
結果	高齢者の福祉の増進を図ります。			
事業概要	高齢者が健康や福祉、生きがいづくりに関する情報を得ることや、いきがい教室等を受講することにより、教養を高め、相互に交流することで、仲間づくりや世代間交流をはかり、生きがいづくりをすすめます。			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	吹田市高齢クラブ連合会	
		委託先②		
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	センターの管理運営業務	
		交付先①		
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	12,444	12,409	12,634	12,634	12,634
人件費職員数(人)	0.80	0.80	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	6,536	6,320	2,416	2,416	2,384
総事業費(A+B)	18,980	18,729	15,050	15,050	15,018
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	18,980	18,729	15,050	15,050	15,018
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	18,980	18,729	15,050	15,050	15,018
財源計(C+D)	18,980	18,729	15,050	15,050	15,018

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00385

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	利用人数	人	目標値	52,244.00	52,278.00	53,231.00
			実績値	52,278.00	51,183.00	
			達成度(%)	100.10	97.90	
目標値の積算方法	第7期吹田健やか年輪プラン目標値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.36	0.29	
			一般財源(千円)	0.36	0.29	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	貸室利用件数	件	目標値	3,516.00	3,516.00	3,468.00
			実績値	2,543.00	2,619.00	
			達成度(%)	72.30	74.50	
目標値の積算方法	貸室数×利用区分(午前・午後)×開所日数(交流サロンを除く)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	7.36	5.75	
			一般財源(千円)	7.36	5.75	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 高齢者が教養を高め、相互に交流することにより生きがいづくりをする拠点として、高齢者関係各種団体サークル及び高齢者が、高齢者生きがい活動センターを活用できました。	達成状況 高齢者関係各種団体サークル及び高齢者の教養を高め、相互に交流し、生きがいづくりをすすめることができました。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	高齢者生きがい活動センターは、高齢者が教養を深め又は相互に交流することにより生きがいづくりをする拠点として設置しており、指定管理者制度を導入することにより、市民サービスの向上とセンターの効果的・効率的な管理運営に努めており、事業費は適切であります。 今後高齢者社会にとって必要な事業で継続すべきであります。

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者生きがい活動センター事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00385				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00385
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>高齢者が教養を深め、相互に交流し、仲間づくりや世代間交流をはかることなどにより、生きがいつくりをすすめています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00386

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	維持管理委託、設計・建設費、光熱水費	円	目標値	36,529,000.00	35,127,000.00	35,696,000.00
			実績値	35,591,889.00	34,193,919.00	
			達成度(%)	97.40	97.30	
目標値の積算方法	予算額	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 高齢者生きがい活動センターの維持管理を行うことで、高齢者が教養を深め、又は相互に交流することにより生きがいづくりをする拠点として、高齢者生きがい活動センターを活用できました。	達成状況 生きがいづくりの拠点として、高齢者が教養を深め、又は相互に交流することができました。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	千里ニュータウンプラザ全体の施設管理経費のうち、高齢者生きがい活動センター分の支払を行う事業であり、事業費は適切であります。 建設・施設維持管理費等の平成43年度(2031年度)までの支払い計画が、吹田南千里PFI(株)との契約により締結されており、継続すべきであります。

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00386				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)	1点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00386
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

高齢者生きがい活動センターが負担すべき建設・施設維持管理費等の平成43年(2031年度)までの支払い計画について、吹田南千里PFI(株)と契約を締結しております。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>高齢者が教養を深め、又は相互に交流することにより生きがいづくりをする拠点として設置した、高齢者生きがい活動センターが負担すべき年間建設費及び維持管理費等の支払を行う事業です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月30日
14時30分33秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00387	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり							
細節	00								
予算事業	10296	01	03	01	03	13	01	01	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業（老人福祉費）
所属長	今峰 みちの			担当者（内線）住友（2529）					
根拠法令等	老人福祉法、介護保険法、吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進委員会規則								
事業開始年度	不明	直近の改正		平成29年					
改正内容	介護保険法改正、吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進委員会規則の設置								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	市が3年に一度高齢者を対象にした計画を策定		
目標	高齢者に対する保健事業（医療を除く）の実施に関すること、高齢者福祉事業の供給体制の確保に関すること及び介護保険事業の円滑な実施のための必要な事項を定めます。		
結果	明確な目標を持った計画的な施策運営を実現し、より高齢者の生活に即した計画になります。		
事業概要	高齢者保健福祉施策や介護保険事業の目標などを定めた吹田健やか年輪プラン（高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）を3年ごとに策定します。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株)サーベイリサーチセンター大阪事務所
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	計画策定支援業務
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,690	3,528	5,341	5,258	290
人件費職員数(人)	0.30	0.70	3.00	3.00	2.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	2,451	5,530	24,156	24,156	15,890
総事業費(A+B)	6,141	9,058	29,497	29,414	16,180
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	6,141	9,058	29,497	29,414	16,180
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	6,141	9,058	29,497	29,414	16,180
財源計(C+D)	6,141	9,058	29,497	29,414	16,180

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00387

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	計画推進委員会の開催回数 平成28年度までは計画策定のための福祉審議会及び同高齢福祉部会の開催回数	回	目標値	1.00	5.00	1.00
			実績値	1.00	5.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	計画策定及び進捗管理スケジュールにより設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	9,058.00	5,882.80	
			一般財源(千円)	9,058.00	5,882.80	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	庁内の推進本部会議等の開催回数 平成28年度までは計画策定のための庁内の推進本部会議等の開催回数	回	目標値	4.00	8.00	3.00
			実績値	4.00	7.00	
			達成度(%)	100.00	87.50	
目標値の積算方法	計画策定及び進捗管理スケジュールにより設定	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,264.50	4,202.00	
			一般財源(千円)	2,264.50	4,202.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	第7期吹田健やか年輪プランを策定	達成状況	地域包括ケアシステムのあるべき姿に向けて段階的に取り組んでいくためのロードマップ等を示した第7期プランを策定しました。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:3年ごとに高齢者の状況にあわせて計画を策定する必要があるため)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適切であるため、継続すべきであり、3年ごとに行われる高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定については、法律で定められており、高齢者の実態に沿った施策を計画的に実現していくためには必要不可欠な事業です。 平成29年度は、吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進委員会を設置し、審議を重ね、第7期吹田健やか年輪プランを策定しました。 本事業は政策課題(mission24)の1(1)「高齢者が住み慣れた地域において、健康で安心して幸せに齢を重ねていくことができる「幸齢社会」を実現します。」をめざすものです。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00387				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目視や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	95	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00387
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に当たっては、3年ごとに国及び府から指針が示され、それに沿って計画策定を進めていくため事業実施の方法については3年ごとに見直しを行っています。
平成37年、更には団塊ジュニア世代が65歳以上となる平成52年を見据え、地域包括ケアシステムのあるべき姿に向けて段階的に取り組んでいくための目標を示すロードマップ等をまとめ、達成状況を確認します。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成37年、更には団塊ジュニア世代が65歳以上となる平成52年を見据え、地域包括ケアシステムのあるべき姿に向けて段階的に取り組んでいくための目標を示すロードマップ等をまとめた第7期吹田健やか年輪プランを策定しました。 平成30年度は第7期吹田健やか年輪プランの進捗状況の管理、推進に取り組みます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

本事業は政策課題(mission24)の1(1)「高齢者が住み慣れた地域において、健康で安心して幸せに齢を重ねていくことができる「幸齢社会」を実現します。」をめざすものです。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月30日
14時26分26秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00388	老人福祉施設整備費積立事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり							
細節	30	介護保険サービスの充実							
予算事業	10303	01	03	01	06	01	01	01	老人福祉施設整備費積立事業（老人福祉施設整備費積立金）
所属長	今峰 みちの			担当者（内線）住友（2529）					
根拠法令等	吹田市積立基金条例								
事業開始年度	昭和46年度	直近の改正	平成25年度						
改正内容	設置基金の追加による改正								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	老人福祉施設整備のための基金		
目標	老人福祉施設の整備促進等のための財源		
結果	老人福祉施設の充実		
事業概要	大規模特別養護老人ホーム等の老人福祉施設の整備促進等を目指し、施設整備の一部助成費や市の高齢者施設の整備費等に充当する財源とするために基金の積立を行います。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	19	1	1	1	1
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	836	791	807	807	796
特定財源(C)	19	1	1	0	1
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	19	1	1	0	1
市負担(D)	817	790	806	807	795
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	817	790	806	807	795
財源計(C+D)	836	791	807	807	796

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00388

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	計画的に老人福祉施設整備基金への積立を行う。	目標	老人福祉施設整備基金の充実を図る。
成果内容	計画的な老人福祉施設整備基金への積立を行うことによる、老人福祉施設の整備促進等。	達成状況	今後、老人福祉施設の整備促進等を図るための基金の充実を得ることができました。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:預金利子表をもとに算定しているため)</p> <p>【今後の方向性】 市の高齢者施設については、建築年数の経過とともに大規模な修繕や工事等が必要となり、その財源基盤を支える老人福祉施設整備費積立事業については、市の財源を有効に活用している事業です。</p>		

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	老人福祉施設整備費積立事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00388				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	12	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		c. 迅速なサービス提供はあまり考えていない。(1点)	1点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00388
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

大規模特別養護老人ホーム等の整備に対する一部補助については行わなくなったことから、評価点合計は低いですが、今後、市の高齢者施設の老朽化に伴い大規模な修繕や工事が必要となると考えられることから、その財源基盤を支える老人福祉施設整備費積立事業は今後も必要な事業です。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険制度導入後15年以上が経過し、国府の施設整備方針が転換され、広域型大規模施設から地域密着型小規模施設へ整備の重点が移っていること等を踏まえ、大規模特別養護老人ホーム等の整備費一部助成については、一定の役割を終えています。今後は、市の高齢者施設の老朽化に伴う大規模な修繕等に多額の費用を要するため、基金をその財源に充てていきます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月29日
16時13分25秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00389	吹田市介護老人保健施設施設管理事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
細節	30	介護保険サービスの充実		
予算事業	10581	01 04 01 18 01 01 01	吹田市介護老人保健施設施設管理事業（介護老人保健施設費）	
所属長	今峰 みちの		担当者（内線）前田（2452）	
根拠法令等	吹田市介護老人保健施設条例			
事業開始年度	平成4年度	直近の改正	平成28年度	
改正内容	吹田市介護老人保健施設における事業の追加			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他			
対象	吹田市介護老人保健施設			
目標	介護保険施設サービス、短期入所療養介護等のサービスを提供します。			
結果	高齢者等の健康の保持及び福祉の増進を図ります。			
事業概要	施設の運営を指定管理者によって行う。 吹田市介護老人保健施設は指定管理者制度（利用料金制）を導入しているため、施設の管理運営は指定管理者による独立採算のもと行われますが、施設の大規模な修繕と工事は市が実施するものです。 指定管理者が行う事業 ①介護保険施設サービス②短期入所療養介護及び介護予防短期入所療養介護③通所リハビリテーション及び介護予防通所リハビリテーション④訪問リハビリテーション及び介護予防訪問リハビリテーション⑤その他市長が必要と認める事業			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①		
		委託先②		
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容		
交付先①				
交付先②				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	指定管理者		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	13,741	11,805	11,672	11,562	53,598
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
総事業費(A+B)	21,911	19,705	19,724	19,614	61,543
特定財源(C)	0	150	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	150	0	0	0
市負担(D)	21,911	19,555	19,724	19,614	61,543
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	21,911	19,555	19,724	19,614	61,543
財源計(C+D)	21,911	19,705	19,724	19,614	61,543

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00389

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	入所者数(1日平均)	人	目標値	100.00	100.00	100.00
			実績値	90.90	89.43	
			達成度(%)	90.90	89.40	
目標値の積算方法	入所定員数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	216.78	219.32	
			一般財源(千円)	215.13	219.32	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	延入所者数	人	目標値	35,040.00	35,040.00	36,500.00
			実績値	33,194.00	32,629.00	
			達成度(%)	94.70	93.10	
目標値の積算方法	計画利用者数96人/1日×365日	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.59	0.60	
			一般財源(千円)	0.59	0.60	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	在宅復帰率	%	目標値	50.00	50.00	50.00
			実績値	38.30	50.90	
			達成度(%)	76.60	101.80	
目標値の積算方法	介護報酬の在宅復帰・在宅療養支援等指標	単位当たりコスト	総事業費(千円)	514.49	385.34	
			一般財源(千円)	510.57	385.34	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は、増額を検討する必要がある。(理由:老朽化による修繕費や備品等の更新のため。)</p> <p>【指標数値の評価】 在宅復帰を目指す施設として復帰率50%を達成しており、高い成果をあげている。</p> <p>【総合評価】 指定管理者による安定的な運営を維持していく上で、施設、設備の老朽化等に対応する必要がある。施設の老朽化に伴い事業費が増加する見込みである。在宅復帰施設として高齢者の暮らしを支える役割を担っており、引き続き事業を継続する必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	吹田市介護老人保健施設施設管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	000389				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	000389
-----	-------	--------	--------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

持続可能性の①②が1点となっておりますが、実施施設の老朽化等が進み、施設の維持管理のためには修繕、備品整備を行う必要があり、年々修繕工事が必要な箇所が増えております。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1妥当性) 指定管理者制度を導入しているため、介護報酬その他の利用料金等は指定管理者の収入とし独立採算方式で運営している。入所者率(利用者数/利用定員数×100)も高く、依然高いニーズがある。</p> <p>(5持続可能性) 施設の大規模な修繕と工事は市が実施するため、建築年数とともに費用は増大する。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月29日
16時18分28秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00391	シルバーハウジング生活援助員派遣事業（介護保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり							
細節	20	高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援							
予算事業	11215	12	05	01	01	03	02	01	シルバーハウジング生活援助員派遣事業（包括的支援事業・任意事
所属長	今峰 みちの				担当者（内線）前田（2542）				
根拠法令等	吹田市シルバーハウジング生活援助員派遣事業実施要項								
事業開始年度	平成8年度	直近の改正			平成16年度				
改正内容	全面改正								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	シルバーハウジングの入居者		
目標	自立して安全かつ快適な在宅生活を送れるよう支援します。		
結果	在宅生活を継続させることで生活の質を高め、福祉の増進を図ります。		
事業概要	<p>シルバーハウジングは、市営岸部中住宅、府営千里古江台住宅、府営吹田川園住宅の計3か所（計63戸）あります。入居者は65歳以上（配偶者は60歳以上で可能）で、単身者の場合、介護を受けながらも一人暮らしができることが必要です。本事業は、委託によりシルバーハウジングに生活援助員を派遣し、入居高齢者が安心して生活できるために、生活に関する相談、安否の確認、一時的な家事援助、緊急時の対応及び関係機関との連携調整等のサービスを提供します。なお、所得に応じた利用者負担があります。</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	恩賜財団済生会支部大阪府済生会
		委託先②	特定非営利活動法人いきいきライフ
		委託先③	大阪キリスト教女子青年福祉会
	主な委託内容	費用負担額の決定・徴収を除く事業運営	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	14,946	14,814	15,251	15,114	15,046
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,835	8,340	8,302	8,302	8,213
人件費総額(B)	884	834	831	831	822
総事業費(A+B)	15,830	15,648	16,082	15,945	15,868
特定財源(C)	12,916	12,774	13,108	12,836	12,972
国	6,174	5,378	6,271	6,218	6,114
府	3,086	2,689	3,136	3,109	3,056
その他	3,656	4,707	3,701	3,509	3,802
市負担(D)	2,914	2,874	2,974	3,109	2,896
地方債	0	0	0	0	0
その他	2,914	2,874	2,974	3,109	2,896
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	15,830	15,648	16,082	15,945	15,868

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00391

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	生活援助員が対応した相談件数 (平成28年度実績値から安否確認の件数含む)	件	目標値	3,366.00	12,171.00	11,335.00
			実績値	12,171.00	11,335.00	
			達成度(%)	361.60	93.10	
目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.29	1.41	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 入居者からの生活上の相談や健康相談など様々な相談を受け、適切な助言・指導を行うことで、入居者はより安心して在宅生活を送ることができました。	達成状況 入居者の生活の質を高め、福祉の増進が図ることができました。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>【事業費等の評価】 事業費は適正である。</p> <p>【指標数値の評価】 相談件数も多く、ニーズが高い。成果指標として数値化することは難しいが、相談件数から入居者の生活に寄与している事業と評価できる。</p> <p>【今後の方向性】 シルバーハウジングの入居者であるひとり暮らし高齢者等が安心して快適な生活を営むためには、生活援助員が行う生活相談・指導など身近な見守りが欠かせないため、シルバーハウジングへの生活援助員の派遣を引き続き行う必要があります。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	シルバーハウジング生活援助員派遣事業(介護保険特)	事業区分	その他
事務事業番号	00391				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	84	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00391
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

公平性の①が3点となっておりますが、5点の「不特定多数を対象としている」には該当しませんが、対象者であれば入居申し込みができます。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1 妥当性) 事業は委託により行っており、生活援助員の派遣をしております。相談件数は多く、高齢者の日々の安心につながっている。</p> <p>(3 効率性) 各法人の生活援助員は必要に応じて関係機関と連携し、一人ひとりの高齢者の相談に応じた一時的な家事援助から緊急時の対応など迅速に行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月29日
17時11分04秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00394	地域密着型サービス整備補助事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
細節	30	介護保険サービスの充実		
予算事業				
所属長	今峰 みちの		担当者（内線）新野（2529）	
根拠法令等	吹田市地域密着型サービスにかかる施設整備補助金交付要綱			
事業開始年度	平成18年度	直近の改正	平成25年度	
改正内容	補助金の原資である、国による市町村交付金及び府の基金の補助単価等が変更になったため要綱を一部改正			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 ● その他		
対象	社会福祉法人、NPO法人		
目標	社会福祉法人等による地域密着型サービスの整備促進		
結果	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に定めるサービス提供基盤の整備目標達成		
事業概要	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の目標達成に向け、社会福祉法人等による地域密着型サービスの整備を促進するため、整備費の一部を助成します。 平成29年度は補助対象事業がなく、補助を行っていません。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
■ 補助金・負担金	交付先①	社会福祉法人等	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	8,170	8,170	8,052	8,052	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	0	0	0	0	0

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00394

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地域密着型サービスの整備量	人/月	目標値	1,198.00	1,222.00	872.00
			実績値	815.00	815.00	
			達成度(%)	68.00	66.70	
目標値の積算方法	高齢者人口、要介護認定者数等から地域密着型サービスの整備必要量を算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地域密着型サービスの利用実績	人/月	目標値	1,198.00	1,222.00	872.00
			実績値	769.00	823.00	
			達成度(%)	64.20	67.30	
目標値の積算方法	地域密着型サービスの整備必要量	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 府の基金があり、基本的に市町村は財政的な負担なしに補助を行うことができます。</p> <p>【今後の方向性】 地域密着型サービスは平成18年の介護保険制度改正の中で生まれたサービスであり、住み慣れた地域におけるなじみの関係の中でサービスの利用ができるよう、小規模な施設を市内にバランスよく整備していく必要があります。そのための誘導の手段として、府の基金を活用して介護サービス基盤を充実させていきたいと考えています。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	地域密着型サービス整備補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00394				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点	
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点	
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点	
(5) 持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	88	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00394
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

地域密着型サービスの整備を進めるために必要な事業ですが、地域密着型サービス事業者募集に対する応募が少なく、地域密着型サービスの整備が進んでいない状況です。そのため、目標を下回っている状況ですが、第7期吹田健やか年輪プラン(第7期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)で見込んでいる整備必要量を確保するため、引き続き実施していく必要があります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田健やか年輪プラン(高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)に基づく小規模特別養護老人ホーム等の地域密着型サービスの整備必要量を確保するためには、有効な事業となっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価調査

事務事業名	認知症高齢者グループホーム等の防災改修等支援事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成26年度	改正内容	なし										
(2) 直近の改正	なし												
(3) 根拠法令等	吹田市認知症高齢者グループホーム等防災改修等補助金交付要領												
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、抽出し等あり) <input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)												
	一部にチェックした場合はその説明												
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	02	細節	30						
(6) 目的	対象(誰を、何を)		区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他							
	範囲等		市内における既存の認知症高齢者グループホーム等										
	目標(どういう状態にしたいのか)		防災対策目的や一定年数を経過して使用に堪えなくなったこと等による建物等の改修事業を促進します。										
	結果(どのような効果が得られるのか)		利用者の安全を確保し、サービスの質の向上を図ります。										
(7) 事業概要	防災対策目的や一定年数を経過したこと等により改修を行う、市内の既存の認知症高齢者グループホーム等に対し、補助金を交付します。 平成29年度は補助対象事業がなく、補助を行っていません。												
(8) H28事業別予算コード	会計		款		項		目		大事業		中事業		小事業
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成28年度(2018年度)		平成29年度(2017年度)		平成30年度(2018年度)						
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)						
	事業費(A)		0	0	0	0	0						
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		総額(B)	千円	8,170	8,170	8,052	8,052	7,945					
	総事業費(A+B)		8,170	8,170	8,052	8,052	7,945						
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0					
		国		0	0	0	0	0					
		府		0	0	0	0	0					
		その他		0	0	0	0	0					
	(内訳)	市負担(D)		0	0	0	0	0					
		地方債		0	0	0	0	0					
		その他		0	0	0	0	0					
		一般財源		0	0	0	0	0					
財源計(C+D)		0	0	0	0	0							
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施												
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先		①									
		主な委託内容		②									
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先		① 市内の法人									
				②									
<input type="checkbox"/> その他		内容		③									

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)
(1) 活動指標	①	補助金交付額	目標値	(単位:円)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:円)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値 の積算 方法	各法人の改修費用を基に算定	単位当 たリコ スト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標 内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値 の積算 方法		単位当 たリコ スト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	補助対象となる法人	目標値	(単位:法人)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:法人)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値 の積算 方法	補助金を交付した法人数	単位当 たリコ スト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標 内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値 の積算 方法		単位当 たリコ スト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>【事業費等の評価】 補助金の原資となる国の交付金を活用することで、市は財政的な負担なしに補助を行うことができます。</p> <p>【今後の方向性】 市内の既存の認知症高齢者グループホーム等の改修意向を鑑みながら、今後も防災対策目的や一定年数を経過し使用に堪えなくなった施設等の改修費を助成することで、利用者の安全を確保し、サービスの質の向上を図っていく必要があります。</p>				

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	認知症高齢者グループホーム等の防災改修等支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00395				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	76	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。				
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。				
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00395
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

認知症高齢者グループホーム等の防災改修等を支援することにより、利用者の安全を確保し、サービスの質の向上を図ることに寄与しています。大阪府では耐震を目的とした防災改修を主に対象とするなどし、事業の重点化を図っていますが、市内の事業者の意向も確認しながら、必要な改修に対し支援できるよう、目的や対象について検討する必要があります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険制度導入後15年以上が経過し、開設後、一定年数が経過している施設が市内に数多くあることから、利用者の安全の確保やサービスの質の向上を図るために、有効な事業となっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 5日
17時14分37秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00396	高齢者日常生活用具給付等事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり							
細節	20	高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援							
予算事業	10255	01	03	01	03	02	01	01	高齢者日常生活用具給付等事業（老人福祉費）
所属長	今峰 みちの				担当者（内線）	永元 慎也（2455）			
根拠法令等	老人福祉法、吹田市高齢者日常生活用具給付等事業実施要綱								
事業開始年度	昭和51年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	組織改正に伴う改正								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	おおむね65歳以上で、寝たきりやひとり暮らし等により、日常生活に不自由や不安がある人。		
目標	日常生活用具を給付および貸与することにより、日常生活の便宜を図る。		
結果	在宅生活を支援し、福祉の向上を図る。		
事業概要	必要な用具（電磁調理器、火災警報器、自動消火器）を業者から購入、貸与（高齢者電話）する際に、購入費用から所得状況に応じた自己負担額を引いた残金を、市が助成するものです。用具の種類により限度額が決まっているため、限度額を超えるものを希望する場合は、所得状況に関わらず超過分は自己負担となります。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	5,111	4,309	5,186	4,062	4,819
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	9,196	8,259	9,212	8,088	8,792
特定財源(C)	0	9	0	6	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	9	0	6	0
市負担(D)	9,196	8,250	9,212	8,082	8,792
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	9,196	8,250	9,212	8,082	8,792
財源計(C+D)	9,196	8,259	9,212	8,088	8,792

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00396

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	電磁調理器給付実績	台	目標値	48.00	48.00	41.00
			実績値	37.00	35.00	
			達成度(%)	77.10	72.90	
目標値の積算方法	予算積算値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	223.22	231.09	
			一般財源(千円)	222.97	230.91	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	年度末老人電話設置実績	台	目標値	145.00	144.00	136.00
			実績値	128.00	119.00	
			達成度(%)	88.30	82.60	
目標値の積算方法	予算積算値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	64.52	67.97	
			一般財源(千円)	64.45	67.92	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 事業の周知により、施設入所を検討していた高齢者が、電磁調理器等の給付を受け自宅で安全に過ごすことができるようになり、在宅生活を継続できるようになった等の成果があります。	達成状況 事業の周知をすすめたことにより、高齢者だけでなくケアマネジャー等専門職を通じての申請支援につながっています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	【事業費等の分析】 事業の利用者について、必要性をアセスメントしており、事業費は適切です。電磁調理器等の給付を受けることで、在宅での生活を安全に継続できるという成果があります。 【指標数値の評価】 電磁調理器は普及が進み、申請数が減少傾向にあります。火災警報器、自動消火器に関しては、平成27年度、平成28年度は申請件数0でしたが、平成29年度は1件ずつ申請がありました。事業成果は現状で妥当です。 【今後の方向性】 老人福祉法第10条の4第2項の規定に基づき、日常生活の便宜を図るための用具として定められており、高齢者の在宅での暮らしを支える制度であり、今後とも継続する必要があります。

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者日常生活用具給付等事業	事業区分	その他
事務事業番号	00396				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	76	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	76	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00396
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性(2)有効性 電磁調理器や自動消火器及び火災警報器の給付は、一人暮らしの高齢者で、認知症の方への防火の配慮等、防災の観点からも、在宅生活を支援していく上で必要な事業であると考えられます。高齢者電話については、現行の緊急通報システム事業を利用する場合に固定電話回線が必要であるため、その給付利用者にも御利用いただいています。</p> <p>(4)公平性 高齢者の住まいの多様化(サービス付き高齢者住宅等)や電磁調理器の一般利用普及が進み、申請数は減少、横ばい状態にあります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
19時36分01秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00397	緊急通報システム事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり							
細節	20	高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援							
予算事業	10256	01	03	01	03	02	02	01	緊急通報システム事業（老人福祉費）
所属長	今峰 みちの			担当者（内線）永元 慎也（2455）					
根拠法令等	吹田市高齢者日常生活用具給付等実施要綱			吹田市緊急通報システム事業実施要領					
事業開始年度	平成3年度	直近の改正		平成28年度					
改正内容	組織改正に伴う改正								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 ● その他		
対象	おおむね65歳以上で、寝たきりやひとり暮らし等により、日常生活に不自由や不安がある人。		
目標	緊急通報装置を設置することにより、急病や災害などの緊急時に、迅速かつ適切な対応を図る。		
結果	ひとり暮らしの高齢者等の生命を守り、利用者に安心感をもたらすことができる。		
事業概要	ひとり暮らしの高齢者等の家庭内に緊急通報装置を設置することにより、家庭内で病気等の緊急事態に陥ったときに緊急通報装置を用い発信した場合に、緊急通報受信センターで受信し、吹田市消防本部に救急車の出動要請を行うなど、必要な救助などを行い、利用者の安全を確保します。既に設置済の緊急通報装置が正常に作動することを確認するための点検業務等も行います。生計中心者の前年度の所得税額により利用者自己負担金が必要です。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先① 大阪ガスセキュリティサービス	
	■ 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	装置の設置、点検及び受信、駆け付け業務
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	20,407	20,026	19,829	16,066	14,321
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	24,492	23,976	23,855	20,092	18,294
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	24,492	23,976	23,855	20,092	18,294
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	24,492	23,976	23,855	20,092	18,294
財源計(C+D)	24,492	23,976	23,855	20,092	18,294

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00397

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	緊急通報装置新規設置件数	台	目標値	210.00	196.00	210.00
			実績値	208.00	212.00	
			達成度(%)	99.00	108.20	
目標値の積算方法	予算積算値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	115.27	94.77	
			一般財源(千円)	115.27	94.77	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	年度末設置台数	台	目標値	2,105.00	2,178.00	1,993.00
			実績値	1,982.00	1,783.00	
			達成度(%)	94.20	81.90	
目標値の積算方法	予算積算値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	12.10	11.27	
			一般財源(千円)	12.10	11.27	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	通報件数	件	目標値	1,820.00	1,669.00	1,819.00
			実績値	1,580.00	1,912.00	
			達成度(%)	86.80	114.60	
目標値の積算方法	過去3年間の平均値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	15.17	10.51	
			一般財源(千円)	15.17	10.51	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業の利用者について、必要性をアセスメントし、利用及び廃止決定も迅速に実施しており、事業費は適切です。利用者の夜間の急病時などの安心につながり、自宅での生活継続の支えとなっています。</p> <p>【指標数値の評価】 指標ではひとり暮らし高齢者等の安心安全の確保に効果的に機能していることがうかがえ、事業成果としては現状で妥当であると考えます。</p> <p>【今後の方向性】 ひとり暮らし等の高齢者が急病等の緊急時に、迅速かつ適切な対応を図り、生命と生活を守ります。地区民生・児童委員が、自身の担当地区において緊急通報システムを利用している高齢者を名簿にて把握できるようにする取り組みを行っており、地域と行政が連携して高齢者の見守りを行っていく上で重要な役割を担っています。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	緊急通報システム事業	事業区分	その他
事務事業番号	00397				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	86	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00397
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 毎年一定数の新規申請があり、新規の設置数は若干ですが、増加傾向にあります。</p> <p>(2)有効性 利用者からは、緊急通報システムを設置することで安心して毎日が過ごせると評価を受けています。事業としてのニーズは高いと考えられます。</p> <p>(3)公平性 平成27年8月より、以前より市民の方から希望のあったアナログ回線以外での機器の設置について可能となるよう、要領の改正等を行いました。平成29年5月より委託先業者が大阪ガスセキュリティーサービスとなり、引き継ぎについては、利用者の協力を得られるよう、ていねいに説明を行いました。引き継ぎも終了し、安定した事業運営が行えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
19時41分56秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00398	高齢者寝具乾燥消毒サービス事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり							
細節	20	高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援							
予算事業	10257	01	03	01	03	02	03	01	高齢者寝具乾燥消毒サービス事業（老人福祉費）
所属長	今峰 みちの				担当者（内線） 隅谷 朋代（2455）				
根拠法令等	高齢者寝具乾燥消毒サービス事業実施要綱								
事業開始年度	昭和51年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	組織改正に伴う改正								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他	
対象	おおむね65歳以上で、ひとり暮らしや高齢者世帯であり、寝たきりなどの状況で寝具を干すことが困難な方。	
目標	寝具の乾燥を通して、高齢者の在宅生活における保健衛生の向上を図る。	
結果	高齢者の在宅生活の質の向上を図る。	
事業概要	1回あたり、掛布団、敷布団等の寝具類計4枚までの寝具乾燥として、1月と8月を除く各月の年10回実施しています。生計中心者の前年の所得税額により、利用者負担金が必要です。	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先① 株式会社イワノ
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②
		委託先③
		主な委託内容
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①
	交付先②	
	交付先③	
<input type="checkbox"/> その他	内容	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	7,016	6,450	6,599	6,095	6,660
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	11,101	10,400	10,625	10,121	10,633
特定財源(C)	188	178	175	180	169
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	188	178	175	180	169
市負担(D)	10,913	10,222	10,450	9,941	10,464
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	10,913	10,222	10,450	9,941	10,464
財源計(C+D)	11,101	10,400	10,625	10,121	10,633

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00398

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	年間実施件数	件	目標値	3,620.00	3,392.00	3,241.00
			実績値	3,319.00	3,151.00	
			達成度(%)	91.70	92.90	
目標値の積算方法	予算積算件数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3.13	3.21	
			一般財源(千円)	3.08	3.15	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		回	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	本事業を実施することで寝具の保清が保たれるだけでなく、サービス利用をきっかけにヘルパー支援等生活全体の支援につなげるなど、高齢者の在宅生活の質の向上に成果があります。	達成状況	自宅での生活を継続したいという意欲の維持を支えることができています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業の利用者について、必要性のアセスメントを実施しています。利用者はサービス実施日を心待ちにされており、在宅生活継続の意欲向上の効果につながっています。委託事業者とも連携して利用者の現況の把握に努めており、事業費は適切です。</p> <p>【指標数値の評価】 介護保険サービスによる特殊寝台や付属品の貸与、寝具用品の低価格化等の理由で、利用者は減少傾向にありますが、継続的なサービスであるという事業の性質上、生活状況の悪化を察知でき、必要な支援を早期に導入できるなど、高齢者の在宅生活の質の向上に有効な事業です。</p> <p>【今後の方向性】 高齢者が住み慣れた地域社会で生活を続けられるよう、事業の継続を図る必要があります。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者寝具乾燥消毒サービス事業	事業区分	その他
事務事業番号	00398				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00398
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 生活様式の変化(電動ベッドやマットレス等の福祉用具の活用や布団の低価格化に伴う買い替えの普及)により利用者数は減少傾向にあります。常に一定のニーズはあり事業継続の必要性があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
19時45分44秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00399	配食サービス事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
細節	20	高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援		
予算事業	10260	01	03	01
所屬長	今峰 みちの	03	02	06
根拠法令等	吹田市配食サービス事業実施要綱			
事業開始年度	平成9年度	直近の改正	平成28年度	
改正内容	組織改正に伴う改正。			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	おおむね65歳以上で、心身の機能低下などにより、買い物や調理が困難なひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯等。		
目標	栄養のバランスのとれた食事を定期的に提供するとともに、高齢者等の安否を確認することによって、在宅生活の支援を行う。また、食の自立支援の観点から食関連サービスの利用調整を行う。		
結果	高齢者等が住み慣れた地域で、安心して生活できるようにする。		
事業概要	買い物や調理が困難な在宅の高齢者及び重度の障がい者に対して、週7回を上限に栄養のバランスのとれた食事を定期的に提供するとともに、安否確認を行います。配食の時間帯は昼か夕方、委託先によって異なります。また、定期的なアセスメント業務によって、食の自立支援の観点から利用者の心身の状況や食に関する状況等を調査しています。1食あたり450円を利用者負担としています。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	特定非営利法人友、友 他9団体
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	高齢者宅への食事の配達、安否確認
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	43,397	38,420	40,065	36,741	42,376
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	47,482	42,370	44,091	40,767	46,349
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	47,482	42,370	44,091	40,767	46,349
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	47,482	42,370	44,091	40,767	46,349
財源計(C+D)	47,482	42,370	44,091	40,767	46,349

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00399

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	高齢者の生活実態とニーズは多様であり、食の確保、安否確認の必要な人数を指標で示すことが困難な事業です。	目標	食の確保が困難な高齢者の健康を守り、見守り体制を強化することで、生活リスクに対する早期対応を図ります。
成果内容	利用状況の調査を継続して実施することで、対象者を明確にし、安全な在宅生活の継続が可能となります。	達成状況	平成29年度は死亡事案2件、体調不良事案2件を把握し早期対応につなげています。実利用者数は年間延べ5,476人です。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 利用者個々のケースについて、必要性をアセスメントしており、利用及び廃止決定についても迅速に対応しております。障がい者福祉の事業者とその他の事業者の委託料に100円の差を設けていることから、委託料等の精査を行っています。</p> <p>【指標数値の評価】 民間事業所による多様な配食サービスの展開が進み、利用者の選択の幅が広がっています。利用者のニーズを正確に把握することは困難であり、指標数値は示していません。</p> <p>【今後の方向性】 心身の状況に支援が必要な高齢者世帯が増えていることから、食の確保の手立てが必須である状況です。障がい者就労支援の観点も踏まえ、事業内容の検討を進めています。</p>		

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	配食サービス事業	事業区分	その他
事務事業番号	00399				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【ブルダウメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	78	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができずか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00399
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

栄養改善と安否確認により、リスクの高い独居高齢者や高齢者世帯であっても、在宅生活が長く継続でき、また介護保険サービス等と効果的に組み合わせることで、適切なサービス利用量や内容につながる効果が期待されます。食事を確保する方法の選択肢は広がっており、(民間配食事業所の増加や、コンビニエンスストア等の普及)、利用者数は減少傾向にありますが、市のサービスは安否確認が実施されるため市民より一定のニーズがあることから、今後も事業継続の必要性があります。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 配食事業関連の民間事業者が増加し、利用者にとって選択肢が増えてきています。事業内容についての検討をすすめていきます。</p> <p>(2)効率性(3)公平性 本市では、事業利用時に介護認定等を条件にしているため、緊急に在宅生活を支える必要がある高齢者や、介護保険サービスを拒否する高齢者に導入しやすく、在宅生活を継続するための次の対応のつなぎとして効果的な側面を持っています。また、配達とともに安否確認を行うことで、平成29年度では死亡事案2件を把握し、緊急事態に対する早期対応に効果を挙げています。アセスメント業務により、状態の改善が見られた場合には、適切にサービス提供を終了しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 5日
12時49分44秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00401	高齢者訪問理美容サービス事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
細節	20	高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援		
予算事業	10263	01	03	01 03 02 07 01
所屬長	今峰 みちの 担当者(内線)永元 慎也(2455)			
根拠法令等	吹田市高齢者訪問理美容サービス事業実施要綱			
事業開始年度	平成15年度	直近の改正	平成28年度	
改正内容	組織改正に伴う改正			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部(上乘せ、横出し等あり) ○ なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	一般の理美容サービスを利用することが困難な要介護4または5の認定を受けた在宅高齢者		
目標	対象者の居宅を訪問し、当該対象者に理容または美容を行う。		
結果	対象者が必要な理美容サービスを受けられることで、衛生面の確保および在宅生活の質を向上させることができる。		
事業概要	理容業務又は美容業務を主業務とする業者が加齢による心身の衰弱、心身の障がい又は傷病等の理由により理髪店又は美容院に出向くことが困難な高齢者の居宅を直接訪問し、当該高齢者に理美容サービスを行うことにより、高齢者の保健衛生の向上及び家族の在宅介護の負担軽減を図ります。 市が出張費用を負担(1回千円、年4回まで)、サービス利用料は本人負担。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	理美容サービス協力店として登録いただき、利用者がサービス提供を依頼しています。	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	24	20	32	13	32
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	841	810	838	819	827
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	841	810	838	819	827
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	841	810	838	819	827
財源計(C+D)	841	810	838	819	827

所屬	高齢福祉室
事務事業番号	00401

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	対象者に発行した利用券枚数	枚	目標値	82.00	99.00	75.00
			実績値	99.00	75.00	
			達成度(%)	120.70	75.80	
目標値の積算方法	前年度実績より	単位当たりコスト	総事業費(千円)	8.18	10.92	
			一般財源(千円)	8.18	10.92	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	利用枚数	枚	目標値	24.00	32.00	32.00
			実績値	19.00	13.00	
			達成度(%)	79.20	40.60	
目標値の積算方法	予算積算基礎より	単位当たりコスト	総事業費(千円)	42.63	63.00	
			一般財源(千円)	42.63	63.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 利用者、個々のケースについてアセスメントしており、事業費は適切です。</p> <p>【指標数値の評価】 要介護4又は5の方を対象としていることもあり、心身状態の変化が大きいことから、利用券の利用率は高くありませんが、交付枚数は毎年一定数あり、本事業に対するニーズは高いと思われます。</p> <p>【今後の方向性】 在宅で介護を受けておられる方の生活の質の向上に寄与しており、事業の意義は大きいと考えます。 今後、要介護度の高い高齢者であっても、公的サービス等を利用して在宅で生活するという選択を可能にする地域包括ケアシステム構築が進むことで、本事業の利用者も増加が見込まれると考えられます。</p>

事務事業分析シート

2018/5/3111:03

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者訪問理美容サービス事業	事業区分	その他
事務事業番号	00401				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00401
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(2)有効性(3)効率性 利用対象者を要介護4又は5の認定を受けた高齢者としている為、心身状態の変化があるため、交付枚数に対する引き換え率は高くありませんが、発行枚数は一定数あり、本サービスに対するニーズは高いと思われます。今後、要介護度の高い高齢者であっても、いつまでも住み慣れた地域で暮らし続ける地域包括ケアシステムの構築が進む中、本事業に対するニーズも高まっていくと思われます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 5日
19時40分15秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00402	介護予防サービス計画等策定事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	04	地域での暮らしを支えるまちづくり							
細節	12	住み慣れた地域での生活を支える地域福祉の充実/地域福祉の拠点							
予算事業	10295	01	03	01	03	10	99	99	介護予防サービス計画策定事業（老人福祉費）
所属長	今峰 みちの				担当者（内線）辻田 桂子（2456）				
根拠法令等	介護保険法								
事業開始年度	平成18年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	介護保険法に基づく要支援認定者		
目標	福祉の増進を支援します。		
結果	心身の健康の保持及び地域において尊厳ある生活の維持が図られます。		
事業概要	<p>介護保険法において地域包括支援センターが包括的支援事業とともに実施すべき事業として定められおり、要支援認定者や基本チェックリスト該当者に対し介護予防サービス計画策定業務を実施するものです。</p> <p>要支援認定者等の状況やニーズに合わせ、自立支援につながるよう介護保険サービス等の支援計画を策定します。毎月、状況把握を行い、3か月には1回必ず家庭訪問を行い、計画の評価を行います。介護報酬請求事務も行います。</p> <p>サービス計画の一部については、民間の指定介護支援事業所へ委託を行っています。</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	指定居宅介護支援事業所
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	介護予防サービス計画の作成、連絡調整等
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	14,453	12,032	8,177	6,544	1,785
人件費職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	0.60
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	8,052	8,052	4,767
総事業費(A+B)	22,623	19,932	16,229	14,596	6,552
特定財源(C)	10,433	10,822	12,763	9,932	1,785
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	10,433	10,822	12,763	9,932	1,785
市負担(D)	12,190	9,110	3,466	4,664	4,767
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	12,190	9,110	3,466	4,664	4,767
財源計(C+D)	22,623	19,932	16,229	14,596	6,552

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00402

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	指定介護予防支援等担当数 (当該年度末実績)	人	目標値	173.00	194.00	0.00
			実績値	194.00	191.00	
			達成度 (%)	112.10	98.50	
目標値の積算方法	指定介護予防支援等担当数 (前年度末実績) 平成30年度は緊急対応時のみのため0件	単位当たりコスト	総事業費 (千円)	102.74	76.42	
			一般財源 (千円)	46.96	24.42	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度 (%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費 (千円)	0.00	0.00	
			一般財源 (千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	指定介護予防支援等担当数 (当該年度実績)	人	目標値	2,031.00	2,262.00	376.00
			実績値	2,262.00	2,305.00	
			達成度 (%)	111.40	101.90	
目標値の積算方法	指定介護予防支援等担当数 (前年度実績) 平成30年度は予算積算根拠数	単位当たりコスト	総事業費 (千円)	8.81	6.33	
			一般財源 (千円)	4.03	2.02	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度 (%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費 (千円)	0.00	0.00	
			一般財源 (千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性 (一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 本事業は、包括的支援事業とともに地域包括支援センターの必須事業です。平成29年4月からの介護予防・生活支援サービス事業開始に伴い、保険給付サービスの利用があるケースの介護予防給付と新設の介護予防ケアマネジメント事業を合わせた事業に変更となりました。計画策定を実施することで要支援状態である高齢者の状態の悪化を防ぎ、自立へ向けた支援につなげるという効果があります。事業費は適切です。</p> <p>【指標数値の評価】 実績は安定しており、事業成果は現状で妥当です。</p> <p>【今後の方向性】 平成30年度からは南吹田地域包括支援センター委託に伴い、基幹型地域包括支援センターとなり、介護予防計画等策定は返戻と緊急分になるため、件数は大幅に減少します。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室支援グループ	事業名	介護予防サービス計画等策定事業	事業区分	その他
事務事業番号	00402				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている、又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室支援グループ	事務事業番号	00402
-----	-------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性(2)有効性 本事業は、介護保険法において地域包括支援センターが包括的支援事業とともに実施すべき事業として定められています。</p> <p>(3)効率性介護予防サービス計画等策定については、地域包括支援センター職員が担当するとともに、一部は民間の指定居宅介護支援事業所に委託して事業を進めてきました。</p> <p>(4)公平性(5)持続可能性 介護保険法改正に伴い、要支援者へのサービス提供のあり方が大きく変更され、本事業も制度改正に沿った内容の周知を図りました。直営型地域包括支援センターのアウトソーシングが進むに伴い、事業規模は縮小となりますが、保険者として事業は継続していく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地域包括支援センター運営協議会運営事業				
担当部名	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成18年度	改正内容	地域包括支援センター運営協議会地域密着サービス部会を廃止し、運営協議会でその組織を兼ねる。											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	介護保険法施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	04	細節	10							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	地域包括支援センター運営協議会の運営												
	目標(どういう状態にしたいのか)	地域包括支援センター運営協議会を円滑に運営することにより、地域包括支援センター及び地域密着型サービス事業者の適正な運営を確保する。												
結果(どのような効果が得られるのか)	地域包括支援センター運営協議会を開催することで、市内の地域包括支援センターの適切、公正かつ中立な運営の確保を図るとともに、地域密着型サービスにかかる事業者の指定及び指導監督等について適切な運営を確保する。													
(7) 事業概要	地域包括支援センター運営協議会を開催します。													
(8) H29事業別予算コード	会計	01	款	03	項	01	目	03	大事業	02	中事業	06	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)		平成30年度(2018年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		240	219	256	187	258							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
		総額(B)	千円	884	834	831	831	822						
	総事業費(A+B)		1,124	1,053	1,087	1,018	1,080							
	特定財源(C)		905	853	875	820	871							
	(内訳)	国	439	400	424	397	420							
		府	219	200	212	198	209							
		その他	247	253	239	225	242							
	市負担(D)		219	200	212	198	209							
(内訳)	地方債	0	0	0	0	0								
	その他	219	200	212	198	209								
	一般財源	0	0	0		0								
財源計(C+D)		1,124	1,053	1,087	1,018	1,080								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
		主な委託内容	②											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	③											
内容														
<input type="checkbox"/> その他														

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:回)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:回)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:人)	0.00	0.00	
実績値			(単位:人)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容	目標値	(単位:%)	0.00	0.00
	実績値			(単位:%)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	地域包括支援センターの適切、公正かつ中立な運営の確保を図るとともに、地域密着型サービスにかかる事業者の指定及び指導監督等について適切な運営を確保する。		目標	年2回開催	
	②	成果内容	地域包括支援センターの活動状況、決算、業務評価等の報告と、地域密着型サービスについて協議を行った。		達成状況	委員から聴取した意見を、地域包括支援センターの運営に反映している。	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	<p>【事業費等の評価】 年2回開催しており、事業費は適切です。</p> <p>【今後の方向性】 本事業は地域包括支援センターの適切、公正かつ中立な運営を図ることを目的として市に設置するよう、介護保険法施行細則で規定されています。委員から聴取した意見を、地域包括支援センターの運営に効果的に反映させ、地域包括ケアシステム構築における中核機関としての役割を果たすために、今後も必要な事業です。</p>					

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	地域包括支援センター運営協議会運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00403				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

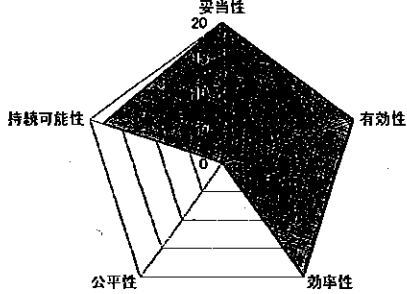
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
		③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5	点	
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。	内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。	内部管理	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	内部管理	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
評価点合計 (100点満点)	97	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00403
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 本事業は地域包括支援センターの適切、公正かつ中立な運営を図ることを目的に市町村が設置するものとして、介護保険施行細則で規定されています。</p> <p>(5)持続可能性 地域包括支援センターの委託が進む中、協議会で議論する内容を有効で効果的な事項とすることで、持続可能性を高めていきます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月20日
16時11分55秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00408	介護予防普及啓発事業（介護保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり							
細節	20	高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援							
予算事業	11205	12	05	99	99	98	97	99	介護予防普及啓発事業（介護予防高齢者施策等事業費）
所属長	今峰 みちの				担当者（内線）川見 知佳（2528）				
根拠法令等	介護保険法								
事業開始年度	昭和54年度	直近の改正	平成18年度						
改正内容	根拠となる法律が、老人保健法から介護保険法に変わったため								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	概ね65歳以上の市民（一部65歳以下も含む）		
目標	地域において介護予防に資するよう自発的な活動が広く実施され、地域の高齢者が自ら介護予防活動を行い、介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域社会の構築を目指す。		
結果	高齢者一人一人が健康寿命を延伸できるよう、介護予防についての知識と技術を習得し、それぞれが地域社会とつながりながら介護予防活動を継続することについての意欲を持つ。		
事業概要	<p>介護予防教室（はつらつ体操教室、お口からはじまる健康教室、認知症予防教室）、介護予防普及啓発講演会（口腔機能向上講演会、認知症予防講演会、栄養改善講演会、笑い介護予防）、ひろばde体操、介護予防に関する出前講座の実施。</p> <p>介護予防に関するリーフレットの作成・配布等、介護予防の必要な方を早期に発見するための取組。</p> <p>※平成29年4月の介護予防・日常生活支援総合事業の開始に併せて、一般介護予防事業の再編を行い、介護予防推進員の養成等及び、介護予防活動を継続して実施する団体等への支援は住民主体の介護予防活動支援事業に移管しました。</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	セントラルスポーツ株式会社
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	認知症予防教室の実施
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,827	2,559	10,343	7,994	10,335
人件費職員数(人)	0.10	0.10	2.00	1.80	3.00
人件費単価	8,835	8,340	8,302	7,723	8,213
人件費総額(B)	884	834	16,604	13,902	24,639
総事業費(A+B)	5,711	3,393	26,947	21,896	34,974
特定財源(C)	5,109	3,073	23,577	20,071	10,335
国	1,427	848	6,735	5,546	2,581
府	713	424	3,370	2,867	1,291
その他	2,969	1,801	13,472	11,658	6,463
市負担(D)	602	320	3,370	2,867	24,639
地方債	0	0	0	0	0
その他	602	320	3,370	2,867	1,291
一般財源	0	0	0	0	23,348
財源計(C+D)	5,711	3,393	26,947	22,938	34,974

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00408

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	介護予防教室、介護予防普及啓発講演会、ひろばd e体操、出前講座延実施回数	回	目標値	351.00	900.00	1,000.00
			実績値	598.00	931.00	
			達成度(%)	170.40	103.40	
目標値の積算方法	吹田市民はつらつ元気大作戦年間予定表に基づく教室、講演会実施回数に、出前講座目標実施回数を足したもの。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5.67	23.52	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	介護予防教室、介護予防普及啓発講演会、ひろばd e体操、出前講座延参加人数	人	目標値	0.00	9,500.00	10,200.00
			実績値	0.00	9,980.00	
			達成度(%)	0.00	105.10	
目標値の積算方法	教室・講演会の定員7割に、出前講座目標回数×10人とひろばd e体操目標参加延べ人数を足したもの	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	2.19	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	はつらつ体操教室参加実人数	人	目標値	0.00	190.00	190.00
			実績値	0.00	202.00	
			達成度(%)	0.00	106.30	
目標値の積算方法	はつらつ体操教室定員に対する参加率70%以上	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	108.40	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況
はつらつ体操教室は介護予防を総合的・集中的に学習することにより、地域での介護予防活動を継続する意欲を持つことを目的に実施しています。	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	■ 拡充 □ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費などの評価】 事業費は適切である。(理由：事業費総額は増加しているが、吹田市における介護保険制度の持続可能性を高めるために必要な経費と考えられるため。)</p> <p>【指標数値の評価】 平成29年4月の介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、一般介護予防事業の再編を行ったため、経年推移を比較することはできないが、延参加人数は平成29年度目標とした人数を超えた。</p> <p>【今後の方向性】 各教室、講演会の参加者統計のまとめ方やアンケート質問内容の統一化等、介護予防事業の運営・評価方法について検討の余地がある。平成30年度介護予防システムの導入を行い、効果的・効率的な事業運営を行う必要がある。</p>

事務事業分析シート

2018/5/3111-02

所属名	高齢福祉室	事業名	介護予防普及啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	00408				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点	
評価点合計 (100点満点)	88	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点	
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00408
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(1)妥当性

2025年問題、2040年問題を前に、健康寿命の延伸により介護保険サービスを受給せずに社会の担い手として活躍することができる高齢者を増やし、介護保険制度の持続可能性を高めるための取組は、保険者として市が積極的に関与すべき事業であるが、介護予防教室の委託については検討の余地がある。

(2)効率性

年齢や介護度を問わず高齢者が参加できるよう、介護予防普及啓発講演会の開催場所や内容、定員のあり方について検討する必要がある。また、介護予防教室の一部については、見直しを行い、効率的・効果的な運営に変更する必要がある。

(3)持続可能性

地域特性を踏まえた事業展開が必要であり、単純に他市町村と比較することは難しいが、先進事例や他市町村の取組について積極的に情報収集を行っていく必要がある。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 5日
19時44分24秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00410	介護支援サポーター事業（介護保険特別会計）		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
細節	20	高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援		
予算事業	11207	12	05	99
所属長	今峰 みちの	99	98	95
根拠法令等	介護保険法、吹田市介護支援サポーター活動助成金交付要綱			
事業開始年度	平成21年度	直近の改正	平成28年度	
改正内容	受入施設に病院を追加			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	本市の介護サービスを利用していない介護保険第1号被保険者（65歳以上）		
目標	元気高齢者が介護支援サポーター活動に参加することで、地域貢献を図ると同時に、健康づくりをはじめ介護予防等を推進する。		
結果	高齢者自身の社会参加と健康増進を図ることで、高齢者が要介護状態になることを予防する。		
事業概要	介護サービスを利用していない高齢者が、養成研修を受講した後にサポーターとして登録し、介護保険施設等において、活動を行った場合にポイントを付与する仕組み。ポイントは、換金可能です。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(福) 吹田市社会福祉協議会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	介護支援サポーター養成研修、ポイント換金
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,180	2,019	2,952	2,888	2,952
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.30
人件費単価	8,835	8,340	8,302	8,302	8,213
人件費総額(B)	884	834	831	831	2,464
総事業費(A+B)	3,064	2,853	3,783	3,719	5,416
特定財源(C)	2,792	2,601	3,310	3,244	2,952
国	766	713	946	889	738
府	383	357	473	465	369
その他	1,643	1,531	1,891	1,890	1,845
市負担(D)	272	252	473	475	2,464
地方債	0	0	0	0	0
その他	272	252	473	465	369
一般財源	0	0	0	10	2,095
財源計(C+D)	3,064	2,853	3,783	3,719	5,416

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00410

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	年度末登録者数	人	目標値	409.00	348.00	363.00
			実績値	298.00	313.00	
			達成度(%)	72.90	89.90	
目標値の積算方法	前年度実績+50人	単位当たりコスト	総事業費(千円)	9.57	11.88	
			一般財源(千円)	0.00	0.03	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	介護支援サポーターポイント申請者数(≒活動者数)	人	目標値	95.00	95.00	116.00
			実績値	87.00	116.00	
			達成度(%)	91.60	122.10	
目標値の積算方法	前年度実績(実績値が目標値を下回る場合には前年度目標値)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	32.79	32.06	
			一般財源(千円)	0.00	0.09	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 事業費としての委託料は増加したが、それに伴い登録者数や活動者数も増加しているため。)</p> <p>【指標数値の評価】 登録者数と比較して活動者数が少ない現状については、改善の余地がある。登録者に対し、活動する施設とのマッチングを積極的に行い、登録者がサポーター活動実施に繋がるよう働きかける必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 介護支援サポーターの活動場所の拡大やサポーターと活動場所のマッチングを積極的に行い、元気高齢者の社会参加のひとつである当事業の魅力や効果を広く発信し、自立した暮らしの実現に向けた支援の充実につなげていく。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	介護支援サポーター事業	事業区分	その他
事務事業番号	00410				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00410
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 介護支援サポーター事業を進め、高齢者がサポーター活動に参加することで、地域貢献を図るとともに、高齢者の健康の増進や要介護状態になることを予防できることから、市の進める介護予防の推進に寄与していると考えられ、事業の実施意義はあるものと考えられる。</p> <p>(2)有効性 介護支援サポーターの登録者数と比較して活動者数が少ないことについて、登録者がサポーター活動に繋がるようにサポーターと活動施設のマッチングを積極的に行う必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
13時00分14秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00411	街かどデイハウス介護予防事業（介護保険特別会計）		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
細節	20	高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援		
予算事業	11208	12	05	99 99 98 95 98
所屬長	今峰 みちの		担当者（内線）中村（2454）	
根拠法令等	介護保険法、吹田市街かどデイハウス事業補助金交付要綱			
事業開始年度	平成21年度	直近の改正	なし	
改正内容				
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	民間非営利団体、特定非営利活動法人等		
目標	街かどデイハウスを運営している民間非営利団体、特定非営利活動法人等に補助金を交付することによって、おおむね65歳以上の高齢者に対し、介護予防や生活支援等を行う。		
結果	介護予防活動の普及による高齢者の生活の質の向上等		
事業概要	介護予防又は生活支援等を必要とする高齢者を対象に、柔軟できめ細やかな介護予防サービス等を提供する民間の非営利団体等に対して、運営費等について補助金を交付するものです。 （事業費・施設借上費・初度設備費の各補助は別事業（一般会計）） 利用者は、時間等に応じた利用料を自己負担。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		特定非営利活動法人 虹 他7団体	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	19,870	14,279	19,870	13,672	21,038
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.30
人件費単価	8,835	8,340	8,302	8,302	8,213
人件費総額(B)	884	834	831	831	2,464
総事業費(A+B)	20,754	15,113	20,701	14,503	23,502
特定財源(C)	18,161	13,328	18,113	12,690	20,565
国	5,185	3,776	5,175	3,507	5,873
府	2,593	1,888	2,588	1,813	2,937
その他	10,383	7,664	10,350	7,370	11,755
市負担(D)	2,593	1,785	2,588	1,813	2,937
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	1,784	2,588	1,813	2,937
一般財源	2,593	1	0	0	0
財源計(C+D)	20,754	15,113	20,701	14,503	23,502

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00411

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	街かどデイハウス運営施設数	か所	目標値	9.00	9.00	9.00
			実績値	8.00	8.00	
			達成度(%)	88.90	88.90	
目標値の積算方法	予算積算数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,889.13	1,812.88	
			一般財源(千円)	0.13	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	街かどデイハウス開所日数	日	目標値	1,248.00	1,248.00	1,248.00
			実績値	1,308.00	1,309.00	
			達成度(%)	104.80	104.90	
目標値の積算方法	施設数×週3回×52週	単位当たりコスト	総事業費(千円)	11.55	11.08	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	延利用者数	人	目標値	16,000.00	16,000.00	16,169.00
			実績値	15,718.00	16,169.00	
			達成度(%)	98.20	101.10	
目標値の積算方法	実績値(実績値が目標値を下回る場合には前年度目標値)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.96	0.90	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 事業費総額が微増しているものの、延利用者数も増加しているため。)</p> <p>【指標数値の評価】 開所日数、延利用者数ともに微増しており、安定的な街かどデイハウスの運営ができていると考えられ、事業成果はおおむね妥当である。</p> <p>【今後の方向性】 急速な高齢化の進展に伴い、介護保険制度の持続可能性を高める為、介護予防事業の充実が重要であり、介護予防や生活支援等を必要とする高齢者に対して、介護予防活動、体操、給食等を提供し、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも自立した生活を続けられるよう支援しています。また、介護予防活動等を通じて、高齢者の閉じこもりや社会的孤立の防止等に役立っており、継続して事業を行っていく必要があります。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	街かどデイハウス介護予防事業	事業区分	その他
事務事業番号	00411				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00411
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 当事業では、高齢者の通いの場として、介護予防や生活支援等を必要としている高齢者の対し、介護予防サービス等を提供しており、市の推進する自立した暮らしの実現に向けた支援の充実に寄与していると考えられる。</p> <p>(3)効率性 街かどデイハウス事業の実施団体は、介護予防や日常生活上の支援が必要な人を支援するため、地域住民の自発的な取組からスタートし、地域住民が主体となって施設を運営しており、その運営費等の補助を行っています。しかしながら、実施団体のスタッフの高齢化が進んでおり、スタッフの不足等、体制的に厳しい団体があります。他の事業(介護支援サポーター事業等)と連携し、事業運営のサポート等を行う必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
16時57分09秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00412	委託型地域包括支援センター事業（介護保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり							
細節	30	介護保険サービスの充実							
予算事業	11211	12	05	01	01	02	01	02	委託型地域包括支援センター事業（包括的支援事業・任意事業費）
所属長	今峰 みちの							担当者（内線）	藤井 寿興（2528）
根拠法令等	介護保険法、吹田市地域包括支援センター設置要項								
事業開始年度	平成24年度	直近の改正	平成30年度						
改正内容	平成30年度に直営型2センターを委託型に置き換えたことに伴い、地域包括支援センターの名称及び位置、基幹型センターの業務内容等を改正。								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	概ね65歳以上の高齢者とその家族、介護者等		
目標	高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活が続けられるように支援する。		
結果	地域住民の保健・医療の向上及び福祉の増進を図る。		
事業概要	地域包括支援センターは介護保険法の規定に基づき、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健・医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、地域において包括的支援事業等を一体的に実施する役割を担う中核機関として設置されています。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	社会福祉法人寿楽福祉会 他9法人
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	地域包括支援センターの運営に関わる事業
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	170,836	168,585	226,709	218,383	272,821
人件費職員数(人)	0.70	0.70	0.60	0.60	0.60
人件費単価	8,835	8,340	8,302	8,302	8,213
人件費総額(B)	6,185	5,838	4,982	4,982	4,928
総事業費(A+B)	177,021	174,423	231,691	223,365	277,749
特定財源(C)	142,502	141,719	186,518	179,809	225,239
国	69,038	59,779	90,347	87,112	106,944
府	34,519	29,889	45,173	43,556	53,471
その他	38,945	52,051	50,998	49,141	64,824
市負担(D)	34,519	32,704	45,173	43,556	52,510
地方債	0	0	0	0	0
その他	34,519	32,704	45,173	43,556	52,510
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	177,021	174,423	231,691	223,365	277,749

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00412

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地域包括支援センター（委託型）設置箇所数	箇所	目標値	10.00	10.00	12.00
			実績値	10.00	10.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	市内6ブロックに各1箇所（直営型）であったセンターを各ブロックに委託型と合わせて複数配置し、16箇所に増設します。	単位当たりコスト	総事業費（千円）	17,442.30	22,336.50	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	委託型地域包括支援センターの1か所当たり平均総合相談件数（28年度以降設置数が増加しているため、平均件数に見直し）	件	目標値	1,033.00	1,033.00	1,033.00
			実績値	892.00	1,002.00	
			達成度(%)	86.40	97.00	
目標値の積算方法	1か所当たり平均総合相談件数の前年度実績（実績値が目標値を下回る場合には前年度目標値）	単位当たりコスト	総事業費（千円）	195.54	222.92	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費（千円）	0.00	0.00	
			一般財源（千円）	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 委託型地域包括支援センターの1か所当たり平均総合相談件数の前年度実績を翌年度の成果指標とし、毎年度、総合相談件数を伸ばしていくことを目標にしています。	達成状況

<総合評価>

今後の方向性（一次評価）	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】事業費は現時点では適切と考えます。（理由：支払実績と照らして大きな相違はないため。なお、委託法人により決算額に多少の違いがあるため、丁寧に状況を見ていく必要があります。）</p> <p>【指標数値の評価】アウトソーシング推進計画に基づき、予定どおり委託型センターを設定できており、また、29年度は成果指標の目標値を概ね達成し、センターの認知度も上がっていると判断できることから、本事業成果は良好と考えます。</p> <p>【今後の方向性】今後は、高齢者や家族の方々身近な相談窓口としてより一層充実した高齢者の支援を行うことを目的に、地域保健福祉センター内に設置している直営型3センターを委託型に置き換えて設置するため、30年度に事業者選定を行い、31年4月の委託型センター開設を予定しています。また、従来から毎年実施しているセンターの自己評価及び市の一次評価に加えて、評価委員会を開催して第三者による委員評価を行い、より安定的で質の高いセンター運営が可能となるよう、契約までのプロセスを見直します。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	委託型地域包括支援センター事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00412				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00412
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>【現状】 市が定めた地域包括支援センター運営方針やマニュアル等を基に、委託型センターに対して、事務処理及び技術面等の支援をこれまで継続して行ってきたことにより、既設センターは困難ケース対応等に対するスキルを着実に付けてきています。 平成30年度からは、高齢福祉室及び総合福祉会館の2センターを委託し、高齢福祉室は市内全域をカバーする基幹型センターとして、委託型センター間の連携調整や個別支援の役割を担っています。</p> <p>【今後の課題】 平成31年度から全地域が委託型センターになり、市は基幹型センターとしての役割が中心になりますが、ケース件数や地域性の違いなどによる各センター間の対応格差の解消や、委託型センター職員の業務の質向上に対して、どのようにして取り組んでいくのが課題と捉えています。現在は、特に新設センターに対して、主導的かつ的確な支援を積極的に取り組み、業務の質を補完することで、センター間の均衡を図るよう努めています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

地域包括支援センターは、直営型、委託型に関わらず、行政機能の一部として地域の最前線に立ち、地域包括ケアシステムにおける中核機関としての役割が期待されています。

本市は、平成31年度に、残る直営型3センターを委託型に置き換えて、地域を管轄する委託型15センターと、各センターを統括する基幹型センター(市)となる予定です。平成30年度は地域の特性に応じた相談支援やネットワーク構築等、センター業務を適切に効果的に運営するための移行期と位置づけ、センター業務の均てん化及びスキルアップを図ることで、一層効率的かつ効果的なセンター運営を目指して取り組んでまいります。

事務事業評価調査

事務事業名	地域ケア会議開催事業				
担当部署	福祉部	室課名	高齢福祉室	室課長名	今峰 みちの

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成13年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	介護保険法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり) <input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり) 一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり											
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 施設事業 <input type="checkbox"/> その他 範囲等 要介護者等(援助を必要とする高齢者及びその家族)											
	目標(どういう状態にしたいのか)	介護・保健・医療・福祉サービスの総合調整及び広範なネットワークの形成により、地域での生活の継続を支える。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	要介護者等に介護・保健・医療・福祉サービスを総合的に提供するとともに、支援に関わる機関のネットワークを推進し、福祉の向上を図る。												
	事業概要	市内6カ所で行うブロック別ケア会議(定例会・随時會)、調整會議、報告會の3つの會議で構成され、事務局は直営型・委託型の各地域包括支援センターが担っています。ブロック別定例会では、事例検討を中心に行うなど、ブロックごとの参加者のニーズに応じた運営を行っています。ブロック別随時會は高齢者虐待等の支援困難事例を多職種で検討し、役割分担や支援方針を検討するなどして、介護支援専門員への支援を行うとともに、要介護者などへの地域でのサポート体制の形成を促進します。また、そこで明らかにされた地域の課題について、各會議を通じてその解決を図ります。地域ケア會議に参加する関係機関の支援に役立つ有益なテーマを設定した研修會を開催しています。												
(8) H29事業別予算コード	会計	12	款	05	項	02	目	01	大事業	02	中事業	01	小事業	99
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)		平成30年度(2018年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		481	307	481	339	626							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30							
		総額(B)	千円	2,651	2,502	2,491	2,491							
	総事業費(A+B)		3,132	2,809	2,972	2,830	2,990							
	特定財源(C)		2,522	2,264	2,393	2,278	2,409							
	(内訳)	国	1,222	1,111	1,158	1,103	1,163							
		府	610	555	579	552	581							
		その他	690	588	656	623	665							
	(内訳)	市負担(D)	610	555	579	552	581							
地方債		0	0	0	0	0								
その他		610	555	579	552	581								
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		3,132	2,809	2,972	2,830	2,990								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
		主な委託内容	②											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
内容		②												
<input type="checkbox"/> その他		内容		③										

2 評価の指標等

指標項目		項目	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	
(1) 活動指標	① 指標内容 地域ケア会議開催回数	目標値 (単位:回)	40.00	40.00	33.00	
		実績値 (単位:回)	34.00	35.00		
		達成度(%)	85.0	87.5		
	目標値の積算方法 吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成30年度は第7期見込み)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	82.62	87.00	
			一般財源(単位:千円)			
	② 指標内容	目標値 (単位:人)				0.00
実績値 (単位:人)						
達成度(%)						
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)				
		一般財源(単位:千円)				
(2) 成果指標	① 指標内容 事例検討数	目標値 (単位:%)	28.00	28.00	24.00	
		実績値 (単位:%)	23.00	22.00		
		達成度(%)	82.0	78.0		
	目標値の積算方法 事例検討数(4回×6ブロック)、第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	128.61		
			一般財源(単位:千円)			
	② 指標内容	目標値 (単位:)		0.00	0.00	0.00
実績値 (単位:)			0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な 場合 示す	① 活動内容	ブロック別定例会は、事例検討や事例検討以外にも地域の特性に合わせて、地域の課題を把握・検討に取り組む。	目標	調整会議の中で情報共有を進めながら、各ブロックの特性を活かして取組を進めていく。		
	② 成果内容	各ブロックが特性を活かして、作業部会を立ち上げて課題解決に向けた検討や、ブロック別定例会の中で検討を進めている。	達成状況	6ブロックが特性を活かした取組を実施している。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定				
	評価の説明	<p>【事業費等の妥当性・指標数値の評価】 介護保険制度に位置づけられる前から本事業を実施しており、事業費は適切です。介護・保健・医療・福祉のネットワーク、高齢者虐待防止に向けた総合的な体制の構築に取り組み、回数、開催時期も適切です。各ブロックが地域の特性を活かした取組は数値化ができるものではなく、調整会議等で情報共有を図り、目標を達成するように各ブロックが工夫しながら取り組んでいます。</p> <p>【今後の方向性】 地域の課題を明らかにし課題解決に向けて多職種による会議を重ねていく必要があります。生活支援体制整備事業や自立支援型ケアマネジメント会議との連携等各ブロックの座長・副座長、事務局による効果的な運営が求められます。</p>				

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	地域ケア会議開催事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00413				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

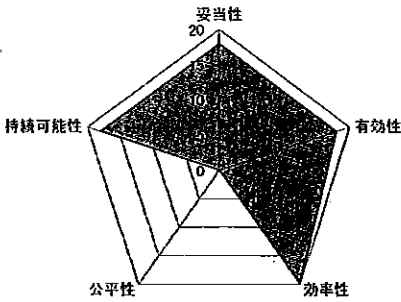
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点				
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。				
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。				
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。				
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。				
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。				
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。				
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。				
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。				
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
		①単位当たりコストは適正ですか。				
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。				
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5	点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。				
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。				
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。				
		内部管理		点		
		②サービスの水準は適正ですか。				
		内部管理		点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。				
		内部管理		点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。				
		内部管理		点		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。				
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。				
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。				
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
		評価点合計 (100点満点)	92	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00413
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 介護保険制度に位置づけられており、市が関与すべき事業として適正に運営しています。</p> <p>(2)有効性 各ブロック別定例会をはじめとする取組内容については、報告としてまとめを作成し、参加者が共有できるようにしています。各ブロックでは年度当初にどのように進めるかを内容や目標を持って運営しています。</p> <p>(3)効率性 事務については、常に改善を意識し、効率化を図ります。</p> <p>(5)持続可能性 支援困難事例等への解決に向けては、普段から地域と専門職が定期的に意見交換を行い、多職種協働で進める地域ケア会議の役割は重要であると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>市町村が「地域ケア会議」を設置し、高齢者への適切な支援及び支援体制に関する検討を行うことが規定され、地域リハビリテーション活動支援事業(自立支援型ケアマネジメント会議の推進)や生活支援体制整備事業とともに、地域課題の把握をすることが求められています。</p>
--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
19時58分07秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00414	介護用品支給事業（介護保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり							
細節	20	高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援							
予算事業	11213	12	05	01	01	03	01	01	介護用品支給事業（包括的支援事業・任意事業費）
所属長	今峰 みちの				担当者（内線）隅谷 朋代（2455）				
根拠法令等	吹田市家族介護用品給付事業実施要綱								
事業開始年度	平成13年度	直近の改正		平成28年度					
改正内容	組織改正に伴う改正								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他	
対象	要介護4又は5のおむつを使用している高齢者を在宅で介護している家族の方で、高齢者と介護している家族の世帯がともに市民税非課税世帯に属している場合	
目標	高齢者を介護する家族の経済的負担を軽減する。	
結果	高齢者の生活の質を高め、家族の介護負担を軽減することを通して、在宅生活の継続及び福祉の増進を図る。	
事業概要	紙おむつ又は尿とりパット代として1か月あたり限度額6,250円（年額75,000円）分の給付券を毎月1枚発行し、登録薬局や介護用品店において引き換えていただくものです。	
実施方法	■ 直接実施	
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①
		委託先②
		委託先③
		主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②	
	交付先③	
<input type="checkbox"/> その他	内容	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	6,619	5,291	6,269	5,180	6,269
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,835	8,340	8,302	8,302	8,213
人件費総額(B)	884	834	831	831	822
総事業費(A+B)	7,503	6,125	7,100	6,011	7,091
特定財源(C)	6,212	5,099	5,047	4,839	5,884
国	2,926	2,130	2,445	2,344	2,734
府	1,463	1,065	1,222	1,172	1,367
その他	1,823	1,904	1,380	1,323	1,783
市負担(D)	1,291	1,026	2,053	1,172	1,207
地方債	0	0	0	0	0
その他	1,291	1,026	1,222	1,172	1,207
一般財源	0	0	831	0	0
財源計(C+D)	7,503	6,125	7,100	6,011	7,091

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00414

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	給付券発行枚数	枚	目標値	1,059.00	1,104.00	1,003.00
			実績値	954.00	985.00	
			達成度(%)	90.10	89.20	
目標値の積算方法	予算積算基礎	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6.42	6.10	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	給付券利用枚数	枚	目標値	1,059.00	1,104.00	1,003.00
			実績値	859.00	858.00	
			達成度(%)	81.10	77.70	
目標値の積算方法	予算積算基礎	単位当たりコスト	総事業費(千円)	7.13	7.01	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 本事業については、国の示す地域支援事業の要綱に沿って利用者を規定しています。要介護度の高い、非課税世帯を対象としており、給付券の使用率も高く、事業費は適切です。</p> <p>【指標数値の評価】 この事業の支給対象は、おむつ等の購入代金であり、給付券の使用率も高いことから、介護に伴う経済的負担の軽減につながり、在宅介護を継続する要介護高齢者の家族を支援する施策として事業の効果は高いと考えます。</p> <p>【今後の方向性】 地域支援事業の見直しが進められており、今後、財源の確保を検討していく必要があります。</p>

事務事業分析シート

2018/5/3110:46

所属名	高齢福祉室	事業名	介護用品支給事業	事業区分	その他
事務事業番号	00414				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00414
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(2)有効性 発行した給付券のうち85%がおむつに引き換えられており、対象者にとって必要性の高い事業となっています。</p> <p>(4)公平性 支援を必要とする対象者の実数を把握することは困難ですが、在宅で介護されている家族に対する支援策として、今後とも引き続き周知に努める必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度に任意事業の見直しを実施され、「介護用品の支給については、介護給付サービスの上乗せ・横出しに該当するため、仮に実施する場合には、本来であれば市町村特別給付等として実施されるべきものとし、多くの市町村が「任意事業」として実施していた状況に鑑み、例外的な激変緩和措置として、平成26年度に実施していた市町村のみ、平成27年度以降も「任意事業」として実施が可能。」とされています。平成30年度以降の取扱いとして、「地域包括支援センターの運営等、他の事業との政策の優先順位を勘案した上で、市町村特別給付への移行等について十分に検討を行う必要がある。」とされており、地域包括支援センター運営費・任意事業が同じ枠の中で上限額が管理されているなかで、介護用品の支給の実施に当たり、他の事業の課題を把握・検討し、優先順位を勘案した上で、市町村特別給付への移行等について検討をするよう近畿厚生局より通知を受けています。(平成30年5月23日付け)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 5日
13時19分49秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00415	高齢者・介護家族電話相談事業（介護保険特別会計）				
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり				
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり				
細節	30	介護保険サービスの充実				
予算事業	11214	12	05	01	01 03 01 02	高齢者・介護家族電話相談事業（包括的支援事業・任意事業費）
所属長	今峰 みちの				担当者（内線）藤田 陽子（2528）	
根拠法令等	介護保険法					
事業開始年度	平成24年度	直近の改正	なし			
改正内容	なし					
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	市内に住むおおむね65歳以上の高齢者または介護保険第2号被保険者のうち、要支援・要介護認定を受けた者、及びその介護家族等		
目標	高齢者人口の増加に伴う高齢者をめぐる課題に対し、きめ細やかな相談体制を構築する。		
結果	24時間の相談窓口の設置により、いつでも安心して暮らしていける。		
事業概要	市内に住むおおむね65歳以上の高齢者または介護保険第2号被保険者のうち、要支援・要介護認定を受けた方やその家族からの健康・介護等に関する相談に専門の相談員が応えるもので、平日の午後5時30分から翌日の午前9時までと、土日祝日の24時間、フリーダイヤルによる電話相談を受け付けています。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	ALSOKあんしんケアサポート株式会社
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	夜間、休日等における高齢者等からの相談
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	5,994	5,994	5,994	5,994	6,005
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,835	8,340	8,302	8,302	8,213
人件費総額(B)	884	834	831	831	822
総事業費(A+B)	6,878	6,828	6,825	6,825	6,827
特定財源(C)	5,709	5,665	5,494	5,494	5,671
国	2,682	2,370	2,661	2,662	2,632
府	1,341	1,185	1,331	1,331	1,316
その他	1,686	2,110	1,502	1,501	1,723
市負担(D)	1,169	1,163	1,331	1,331	1,156
地方債	0	0	0	0	0
その他	1,169	1,163	1,331	1,331	1,156
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	6,878	6,828	6,825	6,825	6,827

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00415

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	電話相談件数	件	目標値	572.00	310.00	442.00
			実績値	282.00	442.00	
			達成度(%)	49.30	142.60	
目標値の積算方法	平成29年度の実績数が事業開始から実績数が最も多く、次年度の同様の水準とする。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	24.21	15.44	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 電話相談は業務時間外の相談窓口であり、平日の昼間に行政へ相談できない方の受け皿となる役割は大きいと思われまますので、本事業の周知を更に進めることが成果につながると考えます。	達成状況 平成29年度は、市報、ホームページでのPRおよび、介護予防講演会や包括的支援講座でのチラシ配布を行いました。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>【事業費等の評価】 高齢者が増加し、その家族を含めた様々な相談ニーズが高まっている中で、夜間や休日等の体制の整備は重要です。件数が大幅に増減した年度がありますが、事業開始当初から平均して1.1倍程度は相談件数が増加しており、相談体制を継続する必要があります。事業費は適切です。</p> <p>【指数数値の評価】相談件数を活動指標としており、妥当と考えます。</p> <p>【今後の方向性】 サポートダイヤル利用者に、相談後のフォローが必要な場合のフォロー体系等の確認を年度初めに行うなど、委託事業者と迅速に連携することで、この事業の有効性を高めていきます。24時間切れ目のない相談体制として重要な事業です。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室支援グループ	事業名	高齢者・介護家族電話相談事業	事業区分	その他
事務事業番号	00415				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができずか。	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室支援グループ	事務事業番号	00415
-----	-------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性(2)有効性 夜間、休日の相談体制の確保は必要であり、適正に事業を執行しています。必要な対象者に広く利用をしてもらえる事業であり、夜間、休日の必要な時間に対応できています。</p> <p>(4)公平性 必要な市民に利用を促すために、市報やちらし等でより積極的な周知に努める必要があります。地域包括支援センターの周知と合わせて進める必要があります。</p> <p>(3)効率性、(5)持続可能性 事務の改善は意識し、効率化を図ります。今後も高齢者は増加し、サービス利用のニーズに対応するため、委託先事業所と市や地域包括支援センターの連携がスムーズに行えるよう、年度当初などに対応・報告方法の流れなどを共有しておくなど、工夫を進めます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月20日
16時05分44秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00416	成年後見制度利用支援事業（介護保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	04	地域での暮らしを支えるまちづくり							
細節	20	福祉サービス利用者への支援							
予算事業	11218	12	05	01	01	03	04	01	成年後見制度利用支援事業（包括的支援事業・任意事業費）
所属長	今峰 みちの				担当者（内線）隅谷 朋代（2455）				
根拠法令等	介護保険法、吹田市成年後見制度利用助成金交付要綱、吹田市成年後見審判申立支援事業実施要領								
事業開始年度	平成13年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	助成対象者の拡充と組織改正。								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	精神上の障害により判断能力が十分でない者で、申し立てる親族がいない、低所得である等の理由により成年後見制度の利用が困難な者。		
目標	判断能力が十分でない認知症高齢者等が成年後見制度を活用することにより、適切に身上監護や財産管理を受けることができる。		
結果	成年後見制度による支援を受けることにより、自立した生活を送ることができる。		
事業概要	精神上の障がいによって判断能力が十分でなく本人による申し立てが困難な認知症高齢者等であって、配偶者若しくは2親等以内の親族がいない方、又は親族がいても音信不通の状況等にある方について、市が成年後見の審判の申し立てを行います。また、認知症高齢者等、又は認知症高齢者等と同居している4親等以内の親族であって、かつ低所得者で弁護士、司法書士、社会福祉士等が成年後見人等として付された場合に、申立費用や後見人等の報酬助成を実施し、これらの者が成年後見制度による保護を受けることにより、財産・権利が守られるよう支援するものです。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,582	3,041	5,163	4,788	4,600
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,835	8,340	8,302	7,723	8,213
人件費総額(B)	884	834	831	773	822
総事業費(A+B)	5,466	3,875	5,994	5,561	5,422
特定財源(C)	4,573	3,285	4,825	4,523	4,537
国	2,132	1,363	2,337	2,191	2,091
府	1,065	681	1,169	1,096	1,045
その他	1,376	1,241	1,319	1,236	1,401
市負担(D)	893	590	1,169	1,096	885
地方債	0	0	0	0	0
その他	893	590	1,169	1,096	885
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	5,466	3,875	5,994	5,619	5,422

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00416

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	市長申立実施件数と本人申立件数の合計	件	目標値	9.00	13.00	9.00
			実績値	12.00	8.00	
			達成度(%)	133.30	61.50	
目標値の積算方法	予算の積算基礎人数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	322.92	695.13	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	後見人等への報酬助成件数合計	件	目標値	16.00	18.00	21.00
			実績値	16.00	26.00	
			達成度(%)	100.00	144.40	
目標値の積算方法	予算の積算基礎人数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	242.19	213.88	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況
資力の乏しい認知症高齢者等でも、安心して成年後見制度を利用することができるという成果があります。	認知症高齢者の権利の擁護を達成しています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 成年後見制度申立に必要な登記費用等や後見人の費用は、家庭裁判所が決定するため、事業費は適切です。</p> <p>【指標数値の評価】 認知症高齢者数の増加、一人暮らし高齢者数の増加に伴い、本事業の利用者も増加しています。事業成果は妥当です。</p> <p>【今後の方向性】 この事業は認知症等、判断能力が十分でない高齢者の権利を守るために必要であり、介護保険法改正に基づく認知症施策の取組の充実にも当たる重要な事業です。成年後見制度利用促進法の制定を受け、基礎自治体としての成年後見制度利用支援の取組を積極的に図る必要がありますが今後、認知症高齢者の増加に伴い事業費の拡大が見込まれるため、財源確保のため地域支援事業の財政管理が重要です。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	成年後見制度利用支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00416				

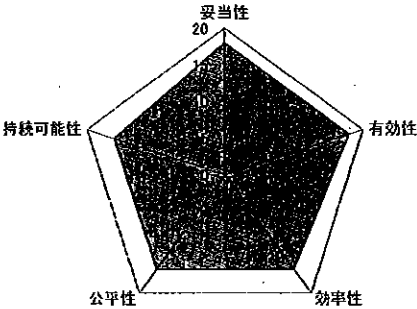
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
評価点合計 (100点満点)	84	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00416
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(5)持続可能性 認知症高齢者等の増加に伴って後見人等の報酬助成額が増大するものと予想され、平成29年度の実績は平成28年度と比較して増加しています。現在は、介護保険特別会計の地域支援事業として財源が確保されている状況で事業を行っていますが、地域支援事業は上限額が決まっているため、他事業との兼ね合いで財源の確保について見通しを持って検討していく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成28年度成年後見制度利用促進法の制定を受け、自治体単位での成年後見制度利用促進基本計画の策定等、体制整備が求められています。認知症高齢者等の日常生活を支えるために、関係室課が連携し、検討を進める必要があります。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
17時41分01秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00417	認知症サポーター養成事業（介護保険特別会計）		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	04	地域での暮らしを支えるまちづくり		
細節	13	住み慣れた地域での生活を支える地域福祉の充/支え合いのネット		
予算事業	11219	12	05	01 01 03 05 01
		認知症サポーター養成事業（包括的支援事業・任意事業費）		
所属長	今峰 みちの		担当者（内線）宮本 彩（2453）	
根拠法令等	介護保険法			
事業開始年度	平成22年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	市民、市内の企業・団体		
目標	認知症になっても尊厳をもって最後まで自分らしく暮らすためには、周囲の理解と気づかいが必要であり、認知症サポーターを養成する必要がある。平成29年度までの目標数は21,700人。		
結果	認知症に対する市民の認識が深まり、認知症になっても誰もが安心して暮らせるまちづくりをすすめることができる。		
事業概要	地域における認知症の正しい理解の啓発をすすめ、認知症の人やその家族を支援する認知症サポーター並びにサポーター養成講座の講師役となるキャラバン・メイトを養成します。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	296	220	303	275	303
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,835	8,340	8,302	8,302	8,213
人件費総額(B)	884	834	831	831	822
総事業費(A+B)	1,180	1,054	1,134	1,106	1,125
特定財源(C)	1,122	1,011	913	890	1,066
国	460	400	442	431	438
府	230	200	221	216	219
その他	432	411	250	243	409
市負担(D)	58	43	221	216	59
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	43	221	216	59
一般財源	58	0	0	0	0
財源計(C+D)	1,180	1,054	1,134	1,106	1,125

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00417

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	地域住民や民生関係団体をはじめ、学校、高齢者の見守り登録事業者などを対象とした認知症サポーター養成講座の開催数	回	目標値	100.00	100.00	108.00
			実績値	96.00	123.00	
			達成度(%)	96.00	123.00	
目標値の積算方法	1回あたり30人の参加で年間3,250人の養成を行う場合の必要回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	10.98	8.99	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		回	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	認知症を正しく理解し、認知症の人と家族を見守る認知症サポーター、キャラバンメイトの養成数	人	目標値	3,600.00	3,600.00	3,250.00
			実績値	3,385.00	3,497.00	
			達成度(%)	94.00	97.10	
目標値の積算方法	人口の10%のうち、0～5歳と85歳以上を除いた人数。新オレンジプランを基に本市で設定した。(H30年度より変更)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.31	0.32	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		人	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	達成状況

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】本講座は、市民等が認知症を正しく理解し関心を持つ機会となっており、認知症サポーターが認知症の人や家族への支援等地域で様々な活動を行っている。講座開催希望者数は年々増加傾向だが、事業費内で認知症サポーターの養成が出来ており、事業費は適切である。【指標数値の評価】一回の開催にあたり、参加者(養成数)が異なるので回数のみで達成度をはかることはできないが、養成数(キャラバン・メイトも含む)は3,497人であるので、事業目標は達成することができたと考える。【今後の方向性】事業費や指標数値の目標の評価を踏まえると、事業内容は妥当である。しかし、テキスト購入費がない団体が講座開催を見送る事例や規定のテキストを使用せずオレンジリングが配布されなかった事例があった。第7期吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において、認知症サポーターの養成を重点取組としており、より市民が受講しやすい体制づくりが必要であるため、事業費(テキスト購入費増額)の確保が必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室支援グループ	事業名	認知症サポーター養成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00417				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室支援グループ	事務事業番号	00417
-----	-------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

・認知症サポーターは、地域で認知症と思われる方に声をかけて自宅まで連れて行き、その後、警察へ連絡し、無事家族のもとへ帰すことができたり、近所の認知症の方に、度々訪問して声かけをしているなどの地域での活動が広がりつつある。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 厚生労働省が策定した認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)に基づき実施。今後65歳以上人口が増加するとともに認知症高齢者の増加も見込まれるので、支援体制づくりとしての本事業の実施意義はあるものとする。</p> <p>(5)持続可能性 現在は認知症サポーター養成講座を受講する団体において予算がある場合は費用負担をいただいておりますが、今後予算がない団体の受講希望が多くなった場合、事業費の増額が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年に発表された「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」において認知症サポーター養成の目標値が示されており、平成32年度末の養成目標を1,200万人とされています。本市においても、年間3,250人を養成し、平成32年度末までの目標数を30,400人とするため、さらなる啓発活動が必要である。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
17時49分31秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00418	徘徊高齢者SOSネットワーク事業（介護保険特別会計）		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	04	地域での暮らしを支えるまちづくり		
細節	13	住み慣れた地域での生活を支える地域福祉の充/支え合いのネット		
予算事業	11221	12	05	01 01 03 07 01
所属長	今峰 みちの	徘徊高齢者SOSネットワーク事業（包括的支援事業・任意事業費）		
根拠法令等	介護保険法、吹田市高齢者見守り体制づくり実施要領			
事業開始年度	平成23年度	直近の改正	平成28年度	
改正内容	組織改正に伴う改正。			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	認知症高齢者とその家族		
目標	認知症高齢者が、徘徊行動により行方不明になった場合、早期発見ができるネットワークの構築。		
結果	徘徊高齢者等の迅速な安全確保とその家族の精神的負担の軽減を図る。		
事業概要	認知症高齢者が、行方不明になった場合、対象者の特徴等を記載した情報を、SOSネットワーク協力事業者等へ一斉にFAX送信し、協力事業者等は日常業務の中で検索を行い、徘徊高齢者等の早期発見を図る事業です。徘徊の心配のある認知症高齢者等は原則事前に登録しておく必要があります。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	245	80	165	152	151
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,835	8,340	8,302	8,302	8,213
人件費総額(B)	884	834	831	831	822
総事業費(A+B)	1,129	914	996	983	973
特定財源(C)	1,081	898	802	791	944
国	441	353	388	383	379
府	220	176	194	192	189
その他	420	369	220	216	376
市負担(D)	48	16	194	192	29
地方債	0	0	0	0	0
その他	48	16	194	192	29
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	1,129	914	996	983	973

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00418

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	事業登録者数	人	目標値	120.00	180.00	221.00
			実績値	144.00	184.00	
			達成度(%)	120.00	102.20	
目標値の積算方法	徘徊高齢者家族支援サービス事業の利用者数伸びをもとに積算。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6.35	5.34	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	協力事業者の登録数	事業者	目標値	428.00	475.00	577.00
			実績値	469.00	490.00	
			達成度(%)	109.60	103.20	
目標値の積算方法	吹田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成30年度は第7期見込み)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.95	2.01	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	事業登録者のうち、実際に検索した回数。	回	目標値	7.00	4.00	18.00
			実績値	4.00	15.00	
			達成度(%)	57.10	375.00	
目標値の積算方法	前年度の実績をもとに積算。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	228.50	65.53	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	活動内容は行方不明になった場合に、迅速に安全確保を図り、登録事業者等にファックスにて検索を依頼する。	目標	無し
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】認知症高齢者は増加傾向にあり、認知症高齢者への支援の意識啓発のため、事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】登録者数は増加傾向にあり、高齢化に伴い今後も増加していくことが予測される。さらに平成29年度の情報提供数は目標値を大きく上回り、うち1回は協力事業者により発見された。しかしこれまでの情報提供数と協力事業者による発見事例数を踏まえると、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。今後、事業成果の目標を達成するためには、他の手段等を検討する必要がある。</p> <p>【今後の方向性】事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ているものの事業費が高いため、実施方法の検討などの事務改善を行いつつ継続することが妥当である。</p>		

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室支援グループ	事業名	徘徊高齢者SOSネットワーク事業	事業区分	その他
事務事業番号	00418				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(6点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室支援グループ	事務事業番号	00418
-----	-------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

認知症高齢者への支援について、協力関係機関や民間事業者等への意識啓発に繋がっている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(現状) 急速に高齢化が進む中で、認知症高齢者が徘徊行動により行方不明となった場合、早期発見ができるネットワークの構築、及び認知症高齢者への支援の意識啓発という観点からも、重要な事業であると考えています。また事業登録者数は増加傾向にあり、認知症高齢者を介護する家族の負担軽減にもつながっているものと考えられることから、本事業の実施意義はあるものと考えます。</p> <p>(今後の課題) 協力事業者に一齐にFAX送信をすることで、行方不明の認知症高齢者を早期発見するための効率性は高いと考えます。しかしFAXの送信回数と協力事業者による発見事例回数を踏まえると、実施方法の効率化について検討していく必要があると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

・認知症高齢者等支援対象者情報提供制度(大阪府警との連携事業)
吹田警察署等からの支援対象者情報を受理し、住所地の地域包括支援センターや担当ケアマネジャーが介護の相談やサービス利用のための手続きの相談等に応じています。この制度は平成28年1月から開始されており、平成29年度は1年間で234件の情報提供がありました。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
17時55分55秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00419	高齢者虐待対応短期入所生活介護事業			
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり			
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり			
細節	20	高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援			
予算事業	11290	01	03	01 03 02 09 01	高齢者虐待対応短期入所生活介護事業（老人福祉費）
所属長	今峰 みちの		担当者（内線）		隅谷 朋代（2455）
根拠法令等	高齢者虐待防止、養護者に対する支援等に関する法律、吹田市高齢者虐待対応短期入所生活介護実施要領				
事業開始年度	平成24年度	直近の改正	平成28年度		
改正内容	組織改正に伴う改正。				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	高齢者虐待等の事由により、一時的に居宅での生活が困難となった者で、要介護認定が非該当となった者、もしくは要介護認定を受けていない者。		
目標	高齢者虐待等の事由により居宅での生活が一時的に困難となった高齢者が、養護老人ホームへの避難と、その後の支援を受けることで、安心安全な生活を確保することができる。		
結果	高齢者が、安心安全な生活を確保することができる。		
事業概要	介護保険の要介護認定で非該当となった者、又は要介護認定を受けていない者が、高齢者虐待等の事由により居宅での生活が困難となった場合に、養護老人ホームを一時的に利用して、安心安全な生活を確保します。 利用者負担はなし。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
■ その他	内容	養護老人ホームを利用施設とすることを事前に近隣市の養護老人ホームと確認しています。	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	302	368	302	155	302
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	1,119	1,158	1,108	961	1,097
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,119	1,158	1,108	961	1,097
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,119	1,158	1,108	961	1,097
財源計(C+D)	1,119	1,158	1,108	961	1,097

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00419

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	高齢者虐待対応短期入所期間	日	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	71.00	30.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	最終手段であるシェルターとしての役割を持つ事業であり、目標値は0日間となります。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	16.31	32.03	
			一般財源(千円)	16.31	32.03	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	高齢者虐待により自宅からの避難が必要な際に、養護老人ホームに一時避難し、高齢者の安心安全な生活を確保します。	目標	高齢者虐待による被害を防ぎ、安心安全な生活を再構築できるように支援します。
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 虐待等を受けている高齢者で、老人福祉法上の措置で救済できない介護保険の要介護認定非該当の方等に対して、市が短期に居宅からの避難の対応を行う事業であり、緊急避難のために継続して事業費の確保が必要です。</p> <p>【指標数値の評価】 利用実績の予測できないセーフティネットとして常に整備が必要な事業です。</p> <p>【今後の方向性】 平成27年度に老人福祉法に基づくやむを得ない事由による措置や養護老人ホームの入所措置と併せ、虐待のために居宅から保護する高齢者の多様な状況に切れ目なく対応できるように、実施施設を養護老人ホームとする要領改正を行いました。それにより、高齢者虐待対応における市の責務を、より重層的に果たすことが可能となっており、活用例も増加しています。今後も継続して取り組んでいく必要があります。</p>		

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者虐待対応短期入所生活介護事業	事業区分	その他
事務事業番号	00419				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
評価点合計 (100点満点)	88	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00419
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性(2)有効性 平成29年度は事業の利用者が2名となっており、平成28年度と比較して減少しておりますが、高齢者の増加に伴い権利擁護に関する対応も増加すると想定されます。</p> <p>(4)公平性 本事業は、老人福祉法上の措置でも救済できない場合の緊急対応ではありますが、制度の谷間を埋める重要な事業となっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
13時01分58秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00420	街かどデイハウス事業補助事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり							
細節	20	高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援							
予算事業	11291	01	03	01	03	02	10	01	街かどデイハウス事業補助事業（老人福祉費）
所属長	今峰 みちの				担当者（内線）中村（2454）				
根拠法令等	大阪府地域福祉・子育て支援交付金交付要綱、吹田市街かどデイハウス事業補助金交付要綱								
事業開始年度	平成11年度	直近の改正	平成21年度						
改正内容	介護予防事業の規定								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	民間非営利団体、特定非営利活動法人等		
目標	街かどデイハウスを運営している民間非営利団体、特定非営利活動法人等に補助金を交付することによって、おおむね65歳以上の高齢者に対し、介護予防や生活支援等を行う。		
結果	介護予防活動の普及による高齢者の生活の質の向上等		
事業概要	介護予防又は生活支援等を必要とする高齢者を対象に、柔軟できめ細やかな介護予防サービス等を提供する民間の非営利団体等に対して、運営費等について補助金を交付するものです。 （介護予防事業費補助は、別事業（介護保険特別会計）） 利用者は、時間等に応じた利用料を自己負担。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	特定非営利活動法人 虹 他7団体	
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	37,220	31,670	37,220	31,991	35,732
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	4,026	4,026	3,973
総事業費(A+B)	41,305	35,620	41,246	36,017	39,705
特定財源(C)	14,817	14,864	14,817	15,068	14,864
国	0	0	0	0	0
府	14,817	14,864	14,817	15,068	14,864
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	26,488	20,756	26,429	20,949	24,841
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	26,488	20,756	26,429	20,949	24,841
財源計(C+D)	41,305	35,620	41,246	36,017	39,705

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00420

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	街かどデイハウス運営施設数	か所	目標値	9.00	9.00	9.00
			実績値	8.00	8.00	
			達成度(%)	88.90	88.90	
目標値の積算方法	予算積算数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4,452.50	4,502.13	
			一般財源(千円)	2,594.50	2,618.63	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	街かどデイハウス開所日数	日	目標値	1,248.00	1,248.00	1,248.00
			実績値	1,308.00	1,309.00	
			達成度(%)	104.80	104.90	
目標値の積算方法	施設数×週3回×52週	単位当たりコスト	総事業費(千円)	27.23	27.51	
			一般財源(千円)	15.87	16.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	延利用者数	人	目標値	16,000.00	15,718.00	16,169.00
			実績値	15,718.00	16,169.00	
			達成度(%)	98.20	102.90	
目標値の積算方法	実績値(実績値が目標値を下回る場合には前年度目標値)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2.27	2.23	
			一般財源(千円)	1.32	1.30	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 事業費総額が微増しているものの、延利用者数も増加しているため。)</p> <p>【指標数値の評価】 開所日数、延利用者数ともに微増しており、安定的な街かどデイハウスの運営ができていると考えられ、事業成果はおおむね妥当である。</p> <p>【今後の方向性】 急速な高齢化の進展に伴い、介護保険制度の持続可能性を高める為、介護予防事業の充実が重要であり、介護予防や生活支援等を必要とする高齢者に対して、介護予防活動、体操、給食等を提供し、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも自立した生活を続けられるよう支援しています。また、介護予防活動等を通じて、高齢者の閉じこもりや社会的孤立の防止等に役立っており、継続して事業を行っていく必要があります。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	街かどデイハウス事業補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00420				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	14	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	74	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00420
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 当事業では、高齢者の通いの場として、介護予防や生活支援等を必要としている高齢者の対し、介護予防サービス等を提供しており、市の推進する自立した暮らしの実現に向けた支援の充実に寄与していると考えられる。</p> <p>(3)効率性 街かどデイハウス事業の実施団体は、介護予防や日常生活上の支援が必要な人を支援するため、地域住民の自発的な取組からスタートし、地域住民が主体となって施設を運営しており、その運営費等の補助を行っています。しかしながら、実施団体のスタッフの高齢化が進んでおり、スタッフの不足等、体制的に厳しい団体があります。他の事業(介護支援サポーター事業等)と連携し、事業運営のサポート等を行う必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成21年度からの大阪府の補助金削減に対応するため、介護保険地域支援事業を活用し、介護予防事業への補助を設ける等の事業再編を行いました。平成23年度から、大阪府の補助金が交付金に変更され、地域福祉・子育て支援交付金に一本化されました。平成27年度からの介護保険制度の改正による、地域支援事業(新しい介護予防・日常生活支援総合事業)の実施に伴い、本事業の位置付けやあり方について検討が必要です。また、財源構成や対象者の要件等についても検討する必要があります。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 5日
17時17分24秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00421	高齢者家具転倒防止器具設置助成事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
細節	20	高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援		
予算事業	11292	01 03 01 03 02 11 01	高齢者家具転倒防止器具設置助成事業（老人福祉費）	
所属長	今峰 みちの		担当者（内線）永元 慎也（2455）	
根拠法令等	吹田市高齢者・重度障害者世帯家具転倒防止器具設置助成金交付要綱			
事業開始年度	平成19年度	直近の改正	平成28年度	
改正内容	組織改正に伴う改正			
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	要支援・要介護認定者を含む低所得の高齢者世帯		
目標	家具転倒防止器具を取り付けることにより、地震による被害の軽減を図る。		
結果	災害時、要援護者の命を守ると同時に、住みなれた地域で安心して生活できる環境が整備できる。		
事業概要	タンス、食器棚等の家具に家具転倒防止器具を取り付けた際の取付費用を助成します。また、生活保護世帯については器具代も併せて助成するものです。助成限度額は取付費用、器具代とも5,000円です。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	25	10	25	30	25
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	842	800	831	836	820
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	842	800	831	836	820
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	842	800	831	836	820
財源計(C+D)	842	800	831	836	820

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00421

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	助成対象人数	人	目標値	4.00	5.00	4.00
			実績値	2.00	5.00	
			達成度(%)	50.00	100.00	
目標値の積算方法	予算積算基礎より	単位当たりコスト	総事業費(千円)	400.00	167.20	
			一般財源(千円)	400.00	167.20	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	高齢者の在宅生活の安全性を高めることができるという成果があります。	達成状況	自宅での生活を継続していきたいという意欲の維持を支えることができています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 助成人数(実績)は少数ですが継続して実績はあり、一度の事業利用で将来の災害時の被害を軽減することができる成果があります。事業費は適切です。</p> <p>【指標数値の評価】 助成人数(実績)は例年、少数です。周知等を行うことで事業成果の余地があると考えています。</p> <p>【今後の方向性】 継続して実績が少数となっていますが、利用者にとっては「地震時に安心である。」「転倒防止器具の設置は高齢者にはできない作業であり助かる。」と満足度は高いものがあります。周知の工夫をすすめていきます。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	高齢者家具転倒防止器具設置助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00421				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	78	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00421
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>妥当性: 20 有効性: 15 効率性: 10 公平性: 10 持続可能性: 10</p>		
(3)現状分析	<p>(1)妥当性(2)有効性(3)効率性 地震等による被害の軽減を目的としていますが、利用実績は低迷しています。市報やホームページ等で周知は行っており、出前講座等でもPRIに努めていますが、工夫が必要と思われます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
20時10分47秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00422	養護老人ホーム入所措置事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
細節	20	高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援		
予算事業	11293	01	03	01 03 11 01 01
所屬長	今峰 みちの 担当者(内線) 永元 慎也(2455)			
根拠法令等	老人福祉法、吹田市老人福祉法施行細則			
事業開始年度	昭和38年度	直近の改正	平成26年度	
改正内容	吹田市老人福祉法施行細則の改正(措置項目の整備)			
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部(上乘せ、横出し等あり) ● なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	おおむね65歳以上で、身体、精神、環境上及び経済的に在宅で生活することが困難な者		
目標	養護老人ホームに入所措置することにより、高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定を図る。		
結果	高齢者の生活の質を高め、福祉の増進を図る。		
事業概要	おおむね65歳以上の者で、身体上又は精神上もしくは環境上の理由及び経済的理由により在宅での生活が困難な者を養護老人ホームに入所措置し、健康で安心して生活できる場所を提供します。入所に係る費用については、所得に応じた負担金を徴収します。養護老人ホーム入所検討委員会を開催し、新規や継続ケースの措置の要否を検討しています。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
■ その他	内容	市内に養護老人ホームはなく、市外の四天王寺悲田院養護老人ホーム、他14施設に措置を実施しています。	

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	116,503	89,376	108,840	81,187	93,463
人件費職員数(人)	1.00	1.00	0.90	0.90	0.90
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	7,247	7,247	7,151
総事業費(A+B)	124,673	97,276	116,087	88,434	100,614
特定財源(C)	26,942	20,423	21,282	18,453	19,087
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	26,942	20,423	21,282	18,453	19,087
市負担(D)	97,731	76,853	94,805	69,981	81,527
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	97,731	76,853	94,805	69,981	81,527
財源計(C+D)	124,673	97,276	116,087	88,434	100,614

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00422

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	被措置者数(年度末時点)	人	目標値	55.00	50.00	45.00
			実績値	41.00	40.00	
			達成度(%)	74.50	80.00	
目標値の積算方法	予算の積算基礎人数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,372.59	2,210.85	
			一般財源(千円)	1,874.46	1,749.53	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 在宅生活が困難な高齢者を適切に措置するとともに、入所者の継続的な調査により必要性の検証も行いながら適正な事業執行に努めています。	達成状況 毎年、入所者の状況調査を実施しており、状況の変化等により措置の必要がなくなった場合は、措置を廃止しています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>【事業費等の評価】 対象者の適性についての判断や、入所後の状況把握を実施しており、高齢化に伴いホーム内で介護保険サービスを利用する際も毎月実績を確認しています。事業費は適切です。</p> <p>【指標数値の評価】 近年、低所得であっても入居できるサービス付きの高齢者住宅や有料老人ホームが増えており、選択肢が広がったことで被措置者数は減少していますが、高齢者虐待対応などで高齢者保護を施設と連携して実施するような場合など、高齢者の深刻な事情に応じた措置は必要です。</p> <p>【今後の方向性】 本事業は老人福祉法に基づく措置であり、法定事務としての責務があり、当該高齢者を保護する上で必要な事業です。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	養護老人ホーム入所措置事業	事業区分	その他
事務事業番号	00422				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00422
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性(2)有効性(5)持続可能性 様々な理由により、居宅での生活が継続できない高齢者にとって、市が養護老人ホームに措置することで、心身の健康の保持、生活の安定が図られます。 原則、亡くなるまで措置を継続するため、経費が増大するものと見込まれる一方で、近年、低所得であっても入居できるサービス付き高齢者住宅や介護付きや住宅型の有料老人ホームが増加して多様な選択が出来るようになったこともあって、措置者数は減少傾向にあります。</p> <p>(4)公平性 措置の必要性については、検討委員の意見も参考にし適切に判断しており、安定した事業運営が行えていると思われます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
18時25分33秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00423	やむを得ない措置事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり							
細節	20	高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援							
予算事業	11294	01	03	01	03	11	01	02	やむを得ない措置事業（老人福祉費）
所属長	今峰 みちの				担当者（内線）隅谷 朋代（2455）				
根拠法令等	老人福祉法、吹田市老人福祉法施行細則、高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律								
事業開始年度	昭和38年度		直近の改正		平成26年度				
改正内容	吹田市老人福祉法施行細則の改正（居宅における介護等の措置に係る改正）								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	やむを得ない事由により、介護保険法に規定する施設サービスを利用することが著しく困難であると認められる者。		
目標	心身の状況、その置かれている環境等に応じて自立した日常生活を営むために、最も適切な支援が総合的に受けられるようにする。		
結果	高齢者の生活の質を高め、福祉の増進を図る。		
事業概要	市内に在住する65歳以上の者であって、本人が家族等からの虐待等を受けている場合や家族等がなく認知症その他の理由で意思能力が乏しい場合に、介護保険法に規定する施設サービスを供与する措置をとります。なお、そのサービスに係る費用については所得に応じた負担金を徴収します。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	措置依頼先として市内外の特別養護老人ホーム等に調整を行います。	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	335	131	335	0	426
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.00	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	0	795
総事業費(A+B)	1,152	921	1,141	0	1,221
特定財源(C)	0	131	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	131	0	0	0
市負担(D)	1,152	790	1,141	0	1,221
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,152	790	1,141	0	1,221
財源計(C+D)	1,152	921	1,141	0	1,221

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00423

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	被措置者数	人	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	2.00	0.00	
			達成度(%)	200.00	0.00	
目標値の積算方法	予算の積算基礎人数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	460.50	0.00	
			一般財源(千円)	395.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	虐待等の事由により介護保険法のサービスを利用することが困難な高齢者に介護保険法に規定するサービスを提供することで、高齢者の身体、生命の保護を図る成果があります。	達成状況	高齢者自身で介護保険法に規定するサービスを利用できない場合のセーフティネットの整備を達成しています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 措置により、高齢者の身体、生命の安全が図られ、市の必須事業です。措置の実施後には、措置内容にかかる費用について所得に応じた負担金を徴収しており、事業費は適切です。29年度はやむを得ない措置を実施した事例はありませんでした。</p> <p>【指標数値の評価】 実績がない年度が継続する場合がありますが、介護認定を受けた要介護高齢者にとって生命、生活の維持のためやむを得ない事由によって活用するセーフティネットであり、常に整備しておく必要があります。</p> <p>【今後の方向性】 老人福祉法において、市町村が実施主体であると規定される法定事業であり、やむを得ない事由により、介護保険法に規定するサービスを利用することが著しく困難である高齢者を保護するため、今後も重要な事業です。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	やむを得ない措置事業	事業区分	その他
事務事業番号	00423				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。			
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点		
		②サービスの水準は適正ですか。			
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。			
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00423
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>(1)妥当性 介護保険制度では原則として、サービス利用者とサービス事業者との関係は契約に基づくものになりますが、本施策は要介護認定の申請・契約利用等が困難な高齢者に対して、老人福祉法に基づき行政機関による措置を行うものです。</p> <p>(2)有効性(4)公平性 平成29年度は利用実績がありませんでした。市内15か所の地域包括支援センターが、高齢者虐待対応の際には早期発見早期対応に努めています。 近年は認知症により身元が不明である高齢者を本事業で対応する事例もあり、今後認知症高齢者人口の増加に伴い必要性が高まると考えられます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
18時35分32秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00424	徘徊高齢者家族支援サービス事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
細節	20	高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援		
予算事業	11357	12	05	01 01 03 07 02
所属長	今峰 みちの		担当者(内線) 高崎 充代(2528)	
根拠法令等	吹田市徘徊高齢者家族支援サービス事業実施要綱			
事業開始年度	平成13年度	直近の改正	平成28年度	
改正内容	組織改正に伴う改正			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部(上乘せ、横出し等あり) <input checked="" type="radio"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	おおむね65歳以上の徘徊のみられる認知症高齢者の同居家族		
目標	位置検索システム端末機械を貸し出すことにより、行方不明になった徘徊高齢者の居場所を家族が検索できる。		
結果	徘徊高齢者の安全を確保するとともに、その家族の負担軽減を図り、安心して生活できる環境をつくることにつながる。		
事業概要	対象者に徘徊高齢者位置検索システム専用端末機及び専用充電器等を貸し出し、端末機を徘徊高齢者に携帯されることにより、徘徊高齢者が行方不明になったときに、対象者からの電話依頼やパソコンによる検索で端末機を利用した位置検索システムにより徘徊高齢者の現在位置を特定するものです。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	セコム株式会社
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	機器の貸し出し 徘徊高齢者の位置探索
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
		交付先②	
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	503	643	567	720	758
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,835	8,340	8,302	8,302	8,213
人件費総額(B)	884	834	831	831	822
総事業費(A+B)	1,387	1,477	1,398	1,551	1,580
特定財源(C)	1,289	1,352	1,125	1,249	1,434
国	541	545	545	605	613
府	270	272	273	302	306
その他	478	535	307	342	515
市負担(D)	98	125	273	302	146
地方債	0	0	0	0	0
その他	98	125	273	302	146
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	1,387	1,477	1,398	1,551	1,580

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00424

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	利用者数 (年度末)	人	目標値	30.00	30.00	46.00
			実績値	45.00	44.00	
			達成度(%)	150.00	146.70	
目標値の 積算方法	予算積算基礎より	単位当たり コスト	総事業費 (千円)	32.82	35.25	
			一般財源 (千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の 積算方法		単位当たり コスト	総事業費 (千円)	0.00	0.00	
			一般財源 (千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	延べ利用人数	人	目標値	360.00	433.00	552.00
			実績値	428.00	531.00	
			達成度(%)	118.90	122.60	
目標値の 積算方法	予算積算基礎より	単位当たり コスト	総事業費 (千円)	3.45	2.92	
			一般財源 (千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	位置検索回数	回	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	142.00	345.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の 積算方法	利用者の状況(徘徊行動の程度等)により、 位置検索回数は個人差が大きく、目標設定が 困難である。	単位当たり コスト	総事業費 (千円)	10.40	4.50	
			一般財源 (千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性 (一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費の妥当性】妥当と判断しています。平成29年度に利用者へのアンケート調査を実施したところ、41人中36人(87.8%)が現在の機器が良いと回答しています。利用負担についても他社機器が高額となることから、機種の変更は難しいと判断しています。</p> <p>【成果数値の評価】事業内容から、利用者数、延べ利用月数を用いることが妥当と判断しています。</p> <p>【今後の方向性】認知症高齢者の増加に伴い、本人の安全確保はもとより、家族の介護負担の軽減が見込まれるため、本事業の必要性は高く、また、代替となるサービスがないため、継続する必要があります。利用者数の大きな変動はありませんが、特定の利用者の探索頻度が一時的に増加しました。</p> <p>認知症高齢者支援の推進を図るため、引き続き徘徊高齢者SOSネットワーク事業、認知症地域サポート事業との連携を強め、事業効果の向上に努めます。</p>

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	徘徊高齢者家族支援サービス事業	事業区分	その他
事務事業番号	00424				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
	b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00424
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>小型の電波発信機を携帯することにより不明者の位置検索を行うもので、ニーズは増加しています。携帯機器の小型化・軽量化が進んでいますが、利用負担が現行より高額であること、現行サービス利用者にアンケートを実施したところ、87.8%が現行のままでよいと回答していることから、機種変更は難しいと判断しています。認知症地域サポート事業、徘徊高齢者SOSネットワーク事業の連携の他、徘徊高齢者の早期発見、身元の把握に繋がるツール等の検討が必要と考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
13時48分27秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00425	福祉事業に係る診断料助成事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
細節	20	高齢期の健康づくり・介護予防・生活支援		
予算事業	10258	01	03	01
所属長	今峰 みちの	03	02	04
根拠法令等	吹田市福祉サービスに係る診断料助成金交付要綱			
事業開始年度	昭和60年度	直近の改正	平成24年度	
改正内容	生活保護受給者を対象から外す。			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他	
対象	本市に居住する生活保護受給者以外の者。	
目標	福祉事業及び介護保険事業の利用申請に伴う経済的負担を軽減します。	
結果	福祉施策の利用を促進し、福祉の増進を図ります。	
事業概要	本市に居住する生活保護受給者以外の者の福祉事業及び介護保険事業の利用申請のために要した健康診断料の全部又は一部を助成します。 ①養護老人ホーム入所措置 ②短期入所生活介護（市内の施設に限る） ③介護老人保健施設入所（市内の施設に限る） ④介護老人福祉施設入所（市内の施設に限る）。	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他	委託先① (一社)吹田市医師会 委託先② 委託先③ 主な委託内容 健康診断の実施及び診断書作成 交付先① 交付先② 交付先③ 内容

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	10,963	9,933	10,963	10,375	10,790
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	2,416	2,416	2,384
総事業費(A+B)	15,048	13,883	13,379	12,791	13,174
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	15,048	13,883	13,379	12,791	13,174
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	15,048	13,883	13,379	12,791	13,174
財源計(C+D)	15,048	13,883	13,379	12,791	13,174

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00425

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	対象件数	件	目標値	690.00	690.00	690.00
			実績値	649.00	680.00	
			達成度(%)	94.10	98.60	
目標値の積算方法	前年度実績を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(千円)	21.39	18.81	
			一般財源(千円)	21.39	18.81	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	福祉事業及び介護保険事業の利用申請に伴う経済的負担を軽減することにより、福祉サービスの利用を促進しています。	達成状況	達成できています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	施設利用に伴う健康診断料を助成し、円滑な介護サービス等の利用を促す本事業は、毎年対象件数が多く、市民ニーズが高い事業です。 ただし、現在は、生活保護受給者を除く、すべての市民が対象となっています。 今後、事業を継続していくためには、負担能力のある課税世帯を対象から外すなど、所得制限を設け、より低所得者に特化した事業へと変えていく必要がありますが、所得制限を設けると、事業の実施方法が変わることになり、利用者および職員の手間が増える可能性があります。そのため、現在の実施方法で事業を継続しながら、市民サービスが低下しないような、事業実施方法を検討していきたいと考えております。

事務事業分析シート

2018/6/413:31

所属名	高齢福祉室	事業名	福祉事業に係る診断料助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00425				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	④利用者が対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	12	②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	72	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00425
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>施設利用等に必要診断料は高齢者にとって、経済的負担となっており、施設利用等を手控えさせる要因であることから必要な事業ですが、事業を持続させるためには、所得制限を設けるなど、対象者の見直しが必要。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
13時49分18秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00426	国保連合会共同電算処理事務事業（介護保険特別会計）								
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり								
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり								
細節	30	介護保険サービスの充実								
予算事業	11174	12	01	01	01	03	01	01	国保連合会共同電算処理事務事業（一般管理費）	
所屬長	今峰 みちの								担当者（内線）	上田（2506）
根拠法令等	介護保険法									
事業開始年度	平成12年度	直近の改正	平成24年度							
改正内容	電算処理手数料の見直し									
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）									

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	介護保険の保険者に共通する処理業務		
目標	保険給付の審査等を一元処理します。		
結果	事務の効率化を図ります。		
事業概要	居宅介護支援事業所から提出される給付管理票と、市から提出している受給者台帳にて、サービス事業者が請求を行う介護報酬請求書との審査業務を行っている大阪府国民健康保険団体連合会へ、手数料を支払います。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	大阪府国民健康保険団体連合会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	介護給付費の審査及び支払に関する業務
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,779	2,520	2,844	2,574	2,955
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,835	8,340	8,302	8,302	8,213
人件費総額(B)	2,651	2,502	2,491	2,491	2,464
総事業費(A+B)	5,430	5,022	5,335	5,065	5,419
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	5,430	5,022	5,335	5,065	5,419
地方債	0	0	0	0	0
その他	5,430	5,022	5,335	5,065	5,419
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	5,430	5,022	5,335	5,065	5,419

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00426

2頁
平成30年 6月 1日
13時49分18秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	基本処理件数	件	目標値	464,763.00	480,109.00	500,622.00
			実績値	448,386.00	475,039.00	
			達成度(%)	96.50	98.90	
目標値の積算方法	前年度実績額を参考に積算	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.01	0.01	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 大阪府国民健康保険団体連合会に業務委託することにより、市の支払事務の効率化を図っています。	達成状況 達成できています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	大阪府国民健康保険団体連合会に業務委託することにより、市の支払事務の効率化を図ることができます。

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	国保連合会共同電算処理事務事業(介護保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00426				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00426
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険の給付はサービス事業者からの請求を大阪府国民健康保険団体連合会で審査業務を行うことにより効率化を図っていることから必要な事業です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>障がい福祉のサービスである、高額障害福祉サービスの支給事務を円滑に行うため、高齢福祉室から国保連合会に現在委託していない項目を新たに委託するかどうかの検討が部内で必要。(手数料は高齢福祉室が負担することになる)</p>
--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
13時50分14秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00427	電算保守事業（介護保険特別会計）			
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり			
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり			
細節	30	介護保険サービスの充実			
予算事業	11175	12	01	01 01 04 01 01	電算保守事業（一般管理費）
所属長	今峰 みちの		担当者（内線）		濱田（2579）
根拠法令等	なし				
事業開始年度	平成11年度	直近の改正	なし		
改正内容	なし				
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	介護保険システム		
目標	介護保険システムの安定的な稼働		
結果	介護保険事務の効率的・円滑な運営		
事業概要	介護保険システムで使用しているサーバー機及びクライアント機などのシステム関係機器とソフトウェアに関する保守		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	株式会社日立製作所 関西支社
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	介護保険システムの保守管理
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

（千円）

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	20,140	20,140	20,346	18,695	29,930
人件費職員数(人)	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
人件費単価	8,835	8,340	8,302	8,302	8,213
人件費総額(B)	5,301	5,004	4,982	4,982	4,928
総事業費(A+B)	25,441	25,144	25,328	23,677	34,858
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	25,441	25,144	25,328	23,677	34,858
地方債	0	0	0	0	0
その他	25,441	25,144	25,328	23,677	34,858
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	25,441	25,144	25,328	23,677	34,858

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00427

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	介護保険第1号被保険者数	人	目標値	84,678.00	85,831.00	87,481.00
			実績値	86,425.00	87,610.00	
			達成度(%)	102.10	102.10	
目標値の積算方法	第6期介護保険事業計画値 (平成30年度は第7期計画値)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.29	0.27	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 介護保険システムの保守管理により、安定したシステムの稼働を実現し、介護保険事務の効率的・円滑な運営を行っています。	達成状況 達成できています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	介護保険事務の効率的・円滑な運営に業務の委託が必要となっています。 今後は、分析等に使用する統計データの抽出等を、保守に追加する検討を進めていきます。

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	電算保守事業(介護保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00427				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	97	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00427
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険の資格管理から給付管理まで電算システム化しており、業務上必須のシステムであり、適切な保守管理が必要です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 1日
13時51分03秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00428	介護保険システム改修事業（介護保険特別会計）		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
細節	30	介護保険サービスの充実		
予算事業	11176	12 01 01 01 04 01 02	システム改修事業（一般管理費）	
所属長	今峰 みちの		担当者（内線）濱田（2579）	
根拠法令等	なし			
事業開始年度	平成11年度	直近の改正	平成27年度	
改正内容	介護報酬改定等			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他			
対象	介護保険システム			
目標	介護保険システムの適正な稼働			
結果	介護保険事務の効率的・円滑な運営			
事業概要	介護保険システムで使用しているサーバー機及びクライアント機などのシステム関係機器とソフトウェアに関する改修事業			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	委託先①	株式会社日立製作所 関西支社	
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先②		
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	システム改修	
		交付先①		
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	15,026	15,026	103,450	103,581	68,514
人件費職員数(人)	0.25	0.25	0.75	0.75	1.00
人件費単価	8,835	8,340	8,302	8,302	8,213
人件費総額(B)	2,209	2,085	6,227	6,227	8,213
総事業費(A+B)	17,235	17,111	109,677	109,808	76,727
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	17,235	17,111	109,677	109,808	76,727
地方債	0	0	0	0	0
その他	17,235	17,111	109,677	109,808	76,727
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	17,235	17,111	109,677	109,808	76,727

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00428

2頁
平成30年 6月 1日
13時51分03秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	介護保険第1号被保険者数	人	目標値	84,678.00	85,831.00	87,481.00
			実績値	86,425.00	87,610.00	
			達成度(%)	102.10	102.10	
目標値の積算方法	第6期介護保険事業計画値 (平成30年度は第7期計画値)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.20	1.25	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 法改正等対応のための介護保険システムの改修により、システムの適正な稼働を実現し、介護保険事務の効率的・円滑な運営を行っています。	達成状況 達成できています。

<総合評価>

今後の方向性 (一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定 介護保険事務の効率的・円滑な運営に業務の委託が必要となっています。 今後は、印刷業務委託やコンビニ収納対応等に伴うシステム改修の検討を進めていきます。
評価の説明	

事務事業分析シート

所属名	高齢福祉室	事業名	介護保険システム改修事業(介護保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00428				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目録や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	6点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	97	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00428
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>業務上必須のシステムにつき、法改正、制度改正に対応するために適切なシステム改修が必要です。 システム改修により、法改正、制度改正に対応した業務運用が問題なく行われていることから、適切な事業運営ができていると考えています。”</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

法改正・制度改正が行われる度に、これらに対応するためのシステム改修が必要になります。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
16時08分00秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0007040000	高齢福祉室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00429	賦課徴収事業（介護保険特別会計）		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	02	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
細節	30	介護保険サービスの充実		
予算事業	11180	12	01	02
所属長	今峰 みちの	01	02	01
根拠法令等	介護保険法、吹田市介護保険条例		担当者（内線）濱田（2579）	
事業開始年度	平成12年度	直近の改正	平成27年度	
改正内容	介護保険料の改正			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	介護保険の第1号被保険者（65歳以上の人）		
目標	第1号被保険者に対し、介護保険料の適正な賦課及び徴収を行います。		
結果	介護保険運営の財源確保		
事業概要	第1号被保険者（65歳以上）の介護保険料について、保険料決定通知書や納付通知書の発送など保険料の賦課及び督促状の発送や口座振替など保険料収納の業務を行います。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
□ 補助金・負担金	主な委託内容		
	交付先①		
	交付先②		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	29,038	26,450	31,291	27,135	41,568
人件費職員数(人)	6.00	5.00	5.00	5.00	5.10
人件費単価	8,835	8,340	8,302	8,302	8,213
人件費総額(B)	53,010	41,700	41,510	41,510	41,887
総事業費(A+B)	82,048	68,150	72,801	68,645	83,455
特定財源(C)	618	546	612	498	604
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	618	546	612	498	604
市負担(D)	81,430	67,604	72,189	68,147	82,851
地方債	0	0	0	0	0
その他	81,430	67,604	72,189	68,147	82,851
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	82,048	68,150	72,801	68,645	83,455

所属	高齢福祉室
事務事業番号	00429

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	第1号被保険者保険料	千円	目標値	5,395,173.00	5,468,635.00	5,561,601.00
			実績値	5,438,464.00	5,525,530.00	
			達成度(%)	100.80	101.00	
目標値の積算方法	第1号被保険者数の推計により積算 ※前年度収納額(収納実績表・収納額合計) ×人口増加率(介護保険事業計画推計値)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.01	0.01	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 第1号被保険者に対し介護保険料の適正な賦課及び徴収を行い、介護保険運営のための財源の確保をします。	達成状況 達成できています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	■ 拡充 □ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定
評価の説明	介護保険制度の運営主体は、介護保険法の規定により、市町村と定められており、介護保険制度運営のため、介護保険料の賦課徴収業務を行う必要があります。 今後は、印刷業務委託やコンビ二収納対応等の検討を進めていきます。

事務事業分析シート

2018/6/715:38

所属名	高齢福祉室	事業名	賦課徴収事業(介護保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00429				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
評価点合計 (100点満点)	95	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	高齢福祉室	事務事業番号	00429
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>介護保険制度は、社会全体で「介護」を支え合う仕組みとして制度発足し、市町村が保険者として運営を行っている。また、社会保険方式を取り入れており、第6期介護保険事業計画では介護給付費の22%（第7期介護保険事業計画では23%）を第1号被保険者（65歳以上の方）が保険料として負担するという制度設計となっています。</p> <p>本事業（賦課徴収事業）は、介護保険財源の確保を図るものとして実施するものです。平成29年度において収納率は98%超となっており、適切な事業運用がなされていると考えています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--